

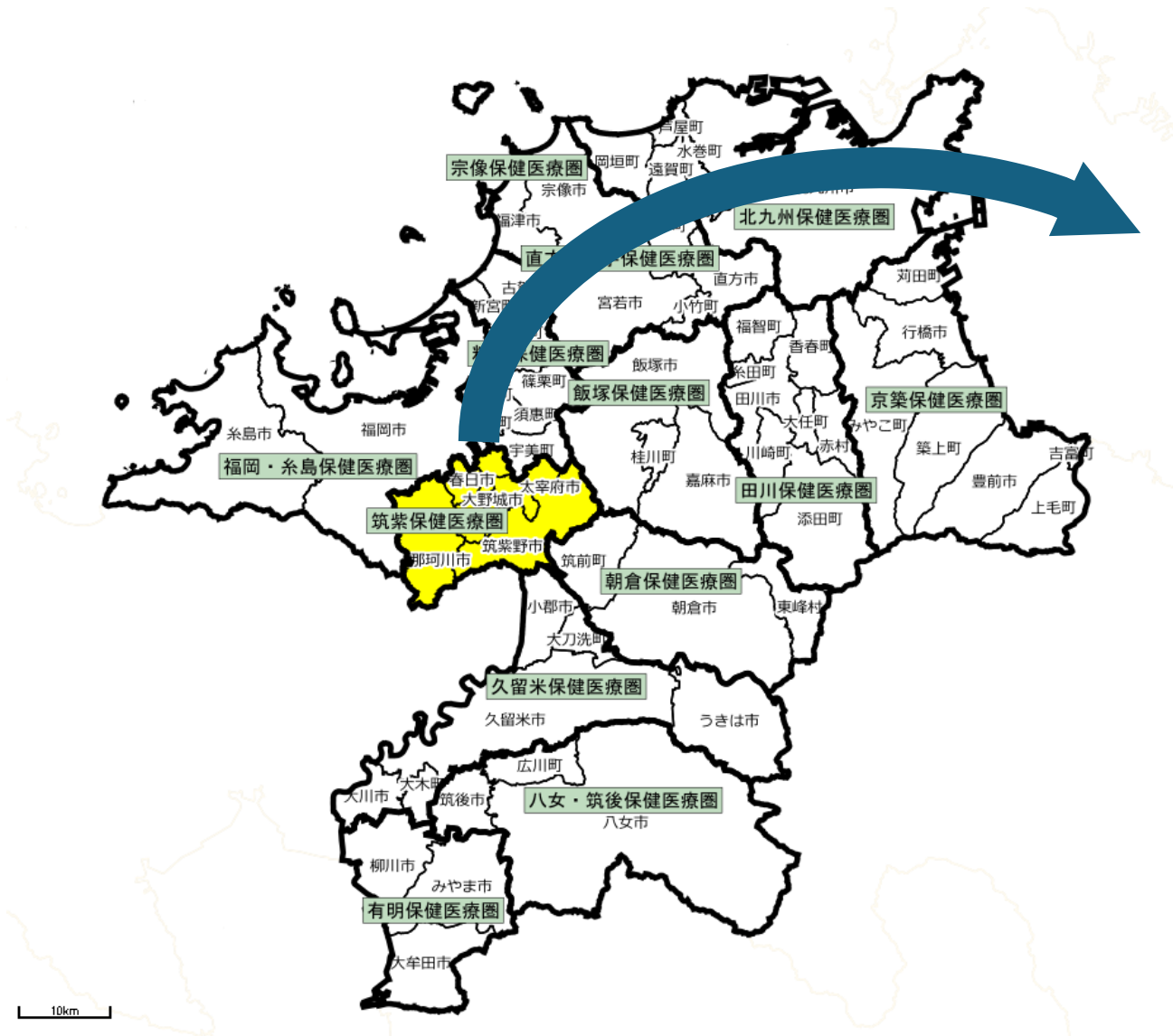
# 地区診断

—筑紫区域—

# 目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	28
12	医療介護資源の状況	34
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	36
14	在宅医療の状況	41
15	看護職員の状況	46
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	48
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	49
18	人口メッシュ（500m）	50
19	救急搬送の状況	51
20	救急医療電話相談利用件数	56
21	MDC別割合	57

# 1. 概要



構成市町村:5市  
(筑紫野市、春日市、大野城市、太宰府市、那珂川市)

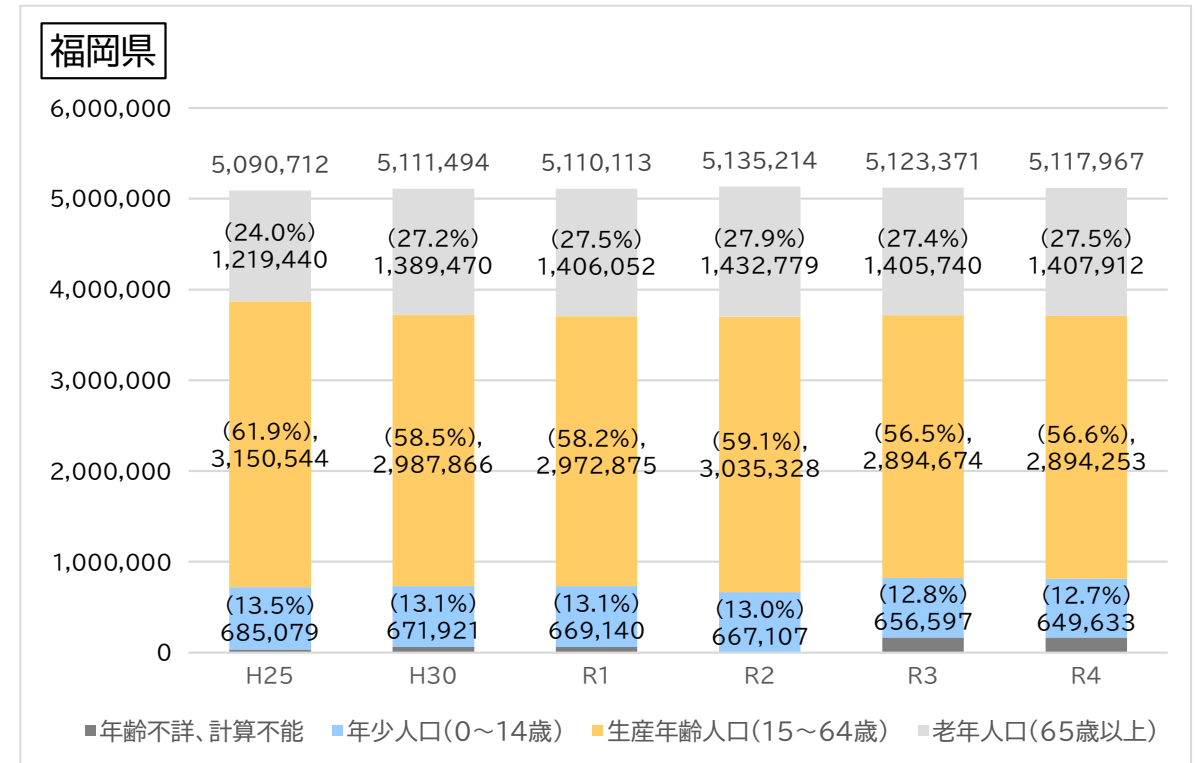
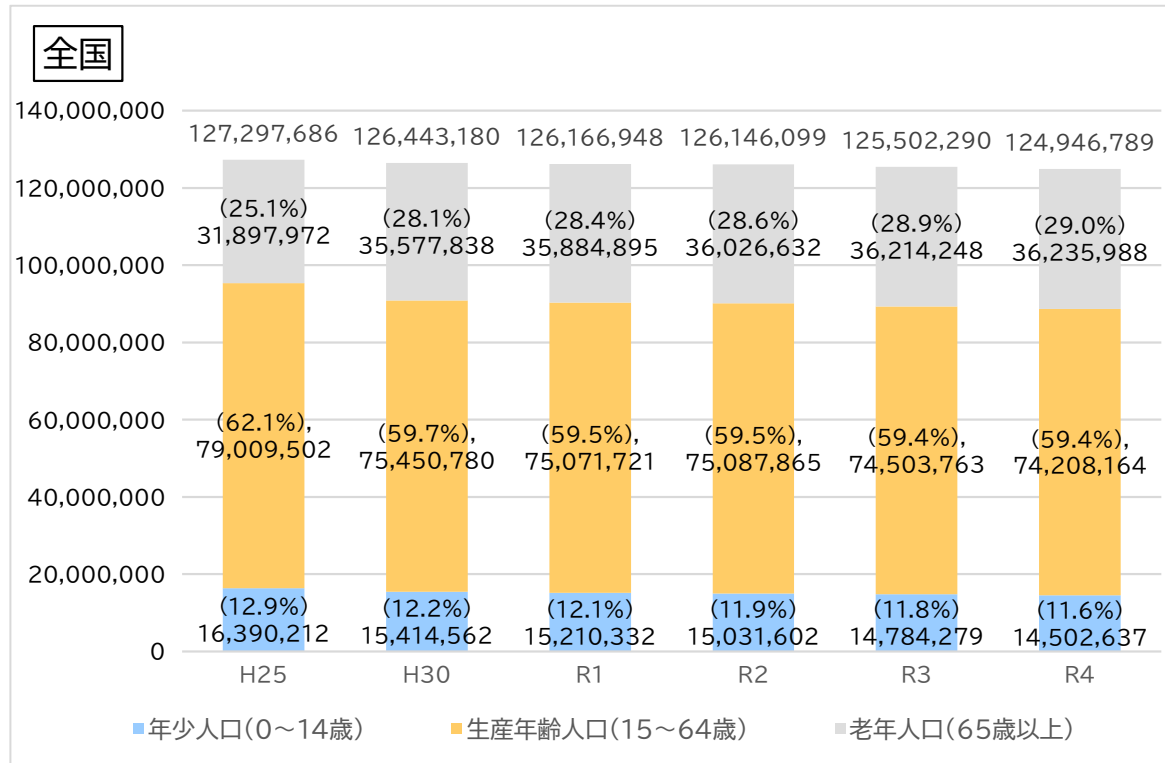
面積:233.32km<sup>2</sup>

人口:439,695人(令和2年国勢調査)  
〔うち年少人口(0~14):65,863人(15%)〕  
〔うち生産年齢人口(15~64):260,909人(59.3%)〕  
〔うち老年人口(65~):105,204人(23.9%)〕

出生数:3,461人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:7.9)※ 県平均7.1

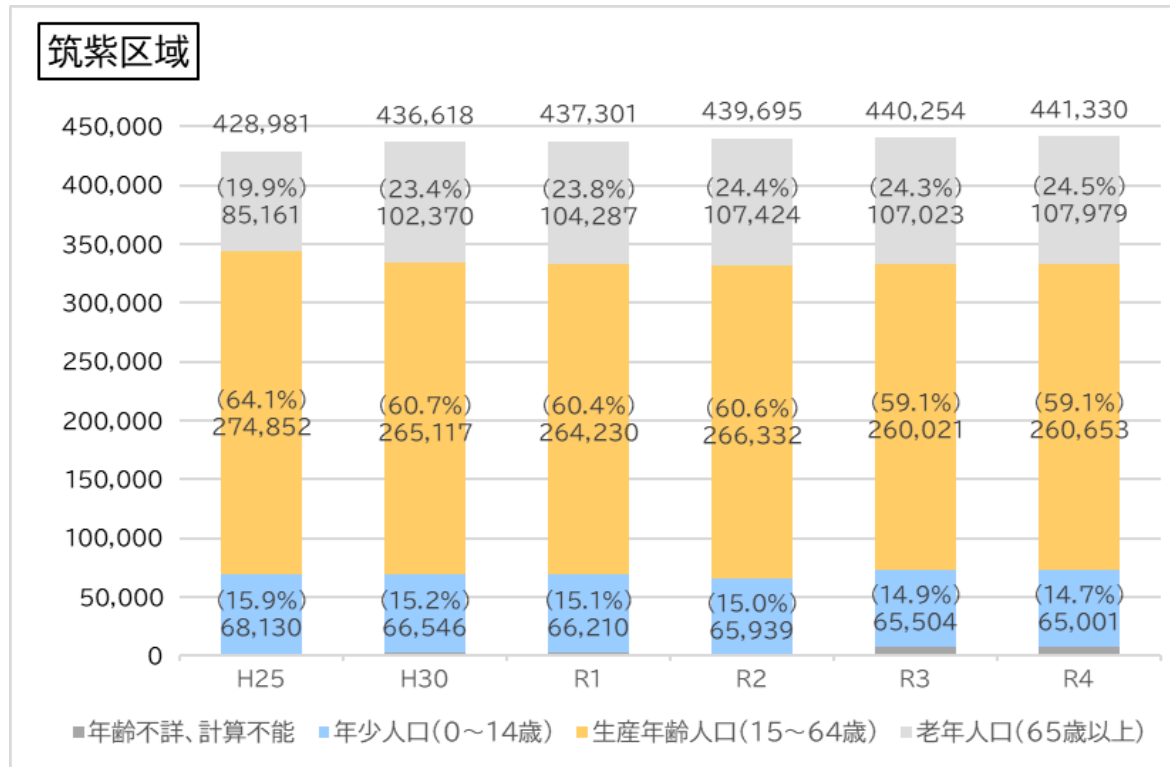
死亡数:4,204人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:9.6)※ 県平均12.2

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、増加傾向
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、20%を超えており、H25年からR4年までで4.6ポイント増加している
- ・各市の状況を見ると(スライド6参照)、いずれの市も老年人口の割合は概ね横ばいである
- ・R4年で最も老年人口の割合が高いのは太宰府市の28.1%で、次いで筑紫野市の26.0%である
- 春日市、大野城市、那珂川市は20%台前半となっている

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

### ●筑紫区域の各市の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
筑紫野市	15,300 (15.1%)	64,718 (64.0%)	21,037 (20.8%)	101,163	14,811 (14.5%)	61,822 (60.3%)	25,560 (24.9%)	102,453	14,824 (14.4%)	61,389 (59.8%)	26,154 (25.5%)	102,624	14,814 (14.3%)	61,742 (59.8%)	26,755 (25.9%)	103,311	14,906 (14.3%)	60,870 (58.4%)	26,984 (25.9%)	104,154	14,963 (14.2%)	61,373 (58.4%)	27,344 (26.0%)	105,070
春日市	17,885 (16.4%)	71,197 (65.4%)	19,428 (17.8%)	108,876	17,204 (15.5%)	68,658 (61.8%)	23,711 (21.4%)	111,035	17,102 (15.4%)	68,389 (61.5%)	24,195 (21.8%)	111,143	16,921 (15.2%)	69,188 (62.3%)	24,914 (22.4%)	111,023	16,751 (15.1%)	67,203 (60.7%)	24,807 (22.4%)	110,772	16,566 (15.0%)	66,926 (60.5%)	25,145 (22.7%)	110,646
大野城市	15,716 (16.1%)	63,330 (64.9%)	18,395 (18.9%)	97,579	15,750 (15.6%)	62,654 (62.2%)	21,925 (21.8%)	100,757	15,693 (15.5%)	62,584 (62.0%)	22,313 (22.1%)	101,017	15,673 (15.4%)	63,111 (61.8%)	23,301 (22.8%)	102,085	15,631 (15.3%)	61,330 (60.0%)	22,787 (22.3%)	102,264	15,662 (15.2%)	61,891 (60.1%)	22,940 (22.3%)	103,006
太宰府市	10,425 (14.6%)	43,857 (61.2%)	17,151 (23.9%)	97,579	10,442 (14.5%)	41,616 (57.6%)	19,850 (27.5%)	100,757	10,319 (14.3%)	41,620 (57.6%)	20,052 (27.7%)	101,017	10,370 (14.2%)	42,113 (57.6%)	20,681 (28.3%)	102,085	10,246 (14.0%)	40,881 (56.0%)	20,477 (28.0%)	102,264	10,046 (13.8%)	40,828 (56.1%)	20,450 (28.1%)	103,006
那珂川市	8,804 (17.7%)	31,750 (63.8%)	9,150 (18.4%)	49,738	8,339 (16.6%)	30,367 (60.6%)	11,324 (22.6%)	50,142	8,272 (16.5%)	30,248 (60.3%)	11,573 (23.1%)	50,204	8,161 (16.3%)	30,178 (60.2%)	11,773 (23.5%)	50,112	7,970 (15.9%)	29,737 (59.4%)	11,968 (23.9%)	50,030	7,764 (15.6%)	29,635 (59.4%)	12,100 (24.3%)	49,854

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

### ●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

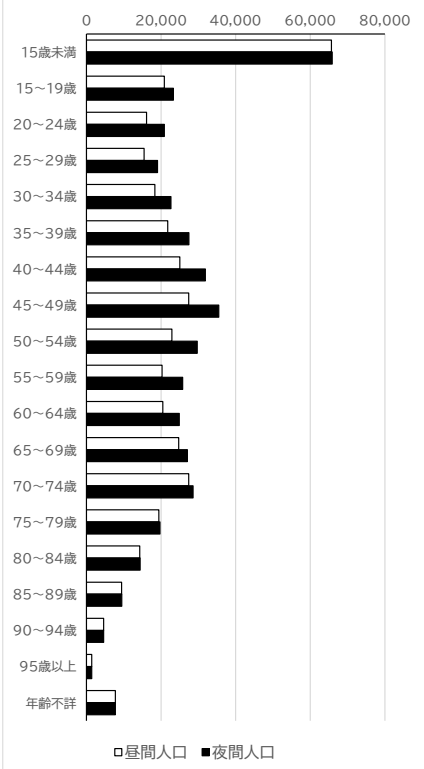


表2) 昼夜間人口比率

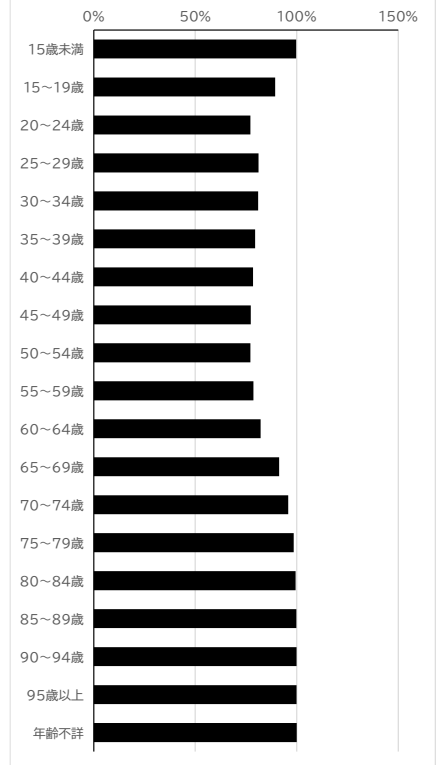


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男女		男女		男女		男女	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	383,227	439,695	210,212	229,483	-34,837	-21,631	83.4%	90.6%
15歳未満	65,685	65,863	33,819	32,044	-38	-140	99.9%	99.6%
15～19歳	20,853	23,321	10,508	11,613	-1,200	-1,268	89.8%	89.1%
20～24歳	16,095	20,851	7,703	10,655	-2,493	-2,263	75.5%	78.8%
25～29歳	15,462	19,039	7,488	9,870	-1,681	-1,896	81.7%	80.8%
30～34歳	18,326	22,630	8,580	11,609	-2,441	-1,863	77.9%	84.0%
35～39歳	21,803	27,434	9,896	14,127	-3,411	-2,220	74.4%	84.3%
40～44歳	25,024	31,883	11,201	16,411	-4,271	-2,588	72.4%	84.2%
45～49歳	27,421	35,441	12,066	18,245	-5,130	-2,890	70.2%	84.2%
50～54歳	22,897	29,677	9,753	15,579	-4,345	-2,435	69.2%	84.4%
55～59歳	20,255	25,763	8,525	13,518	-3,720	-1,788	69.6%	86.8%
60～64歳	20,446	24,870	8,697	12,966	-3,207	-1,217	73.1%	90.6%
65～69歳	24,710	27,064	11,169	14,198	-1,697	-657	86.8%	95.4%
70～74歳	27,383	28,580	12,423	15,252	-905	-292	93.2%	98.1%
75～79歳	19,415	19,716	8,635	10,869	-212	-89	97.6%	99.2%
80～84歳	14,295	14,378	5,948	8,359	-71	-12	98.8%	99.9%
85～89歳	9,429	9,451	3,356	6,084	-11	-11	99.7%	99.8%
90～94歳	4,593	4,598	1,243	3,351	-4	-1	99.7%	100.0%
95歳以上	1,416	1,417	257	1,160	0	-1	100.0%	99.9%
年齢不詳	7,719	7,719	4,146	3,573	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代は「45-49歳」である
- ・昼夜間人口比率は「20-64」の年代層で80%前後となっており、通勤によって域外に流出しているものと思料
- ・昼夜間人口比率を就業の年代(25-64)で見ると、男性の「35-64」の年代層で70%前後と、女性よりも男性で域外への流出傾向が強いものと思料

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	60,642	67,933	39,717	48,488	20,925	19,445	0	0
	従業も通学もしていない	48,577	83,921					48,577	83,921
	不詳	41,274	38,731	4,525	3,326	4,752	4,968	31,997	30,437
	計	150,493	190,585	44,242	51,814	25,677	24,413	80,574	114,358
流出	他地域に従業・通学	59,719	38,898	54,962	34,051	4,757	4,847	0	0
流入	他地域から従業・通学	24,882	17,267	22,340	14,214	2,542	3,053	0	0

### 主な流出先

#### 【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 福岡市博多区	30,822	34.63%	1 福岡県 福岡市南区	1,966	20.47%
2 福岡県 福岡市中央区	16,475	18.51%	2 福岡県 福岡市博多区	1,503	15.65%
3 福岡県 福岡市南区	9,370	10.53%	3 福岡県 福岡市中央区	1,269	13.21%
4 福岡県 福岡市東区	5,003	5.62%	4 福岡県 福岡市城南区	1,018	10.60%
5 福岡県 久留米市	3,198	3.59%	5 福岡県 福岡市東区	1,016	10.58%

### 主な流入元

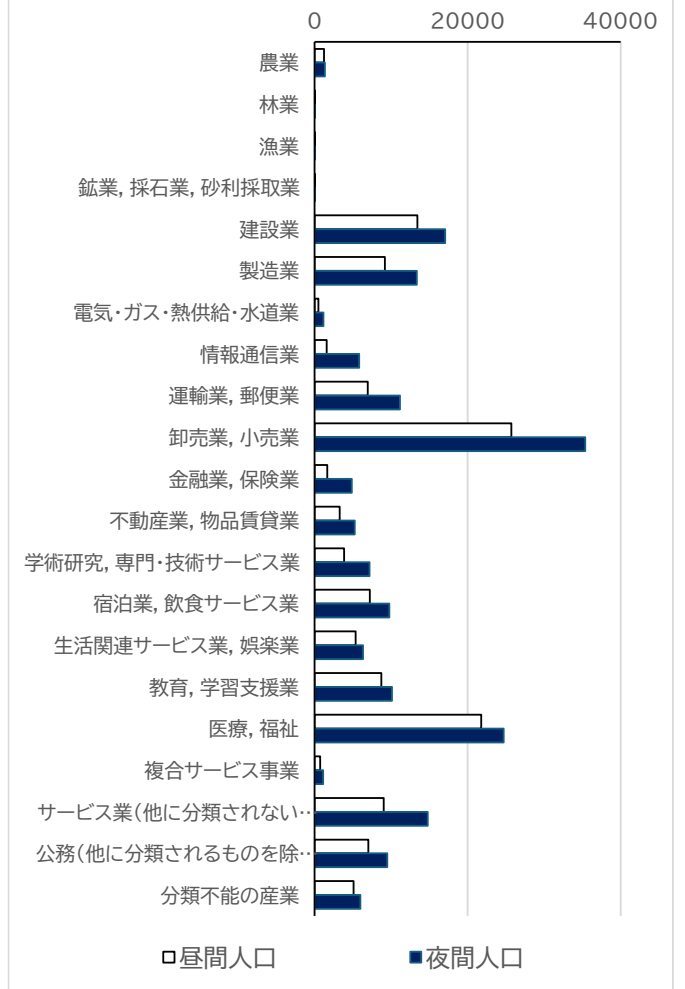
#### 【就業】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 福岡市南区	8,128	22.24%	1 福岡県 福岡市南区	1,261	22.54%
2 福岡県 福岡市博多区	5,042	13.79%	2 福岡県 福岡市博多区	797	14.24%
3 福岡県 小郡市	2,613	7.15%	3 福岡県 小郡市	473	8.45%
4 福岡県 筑前町	1,833	5.01%	4 福岡県 久留米市	420	7.51%
5 福岡県 久留米市	1,819	4.98%	5 佐賀県 鳥栖市	217	3.88%

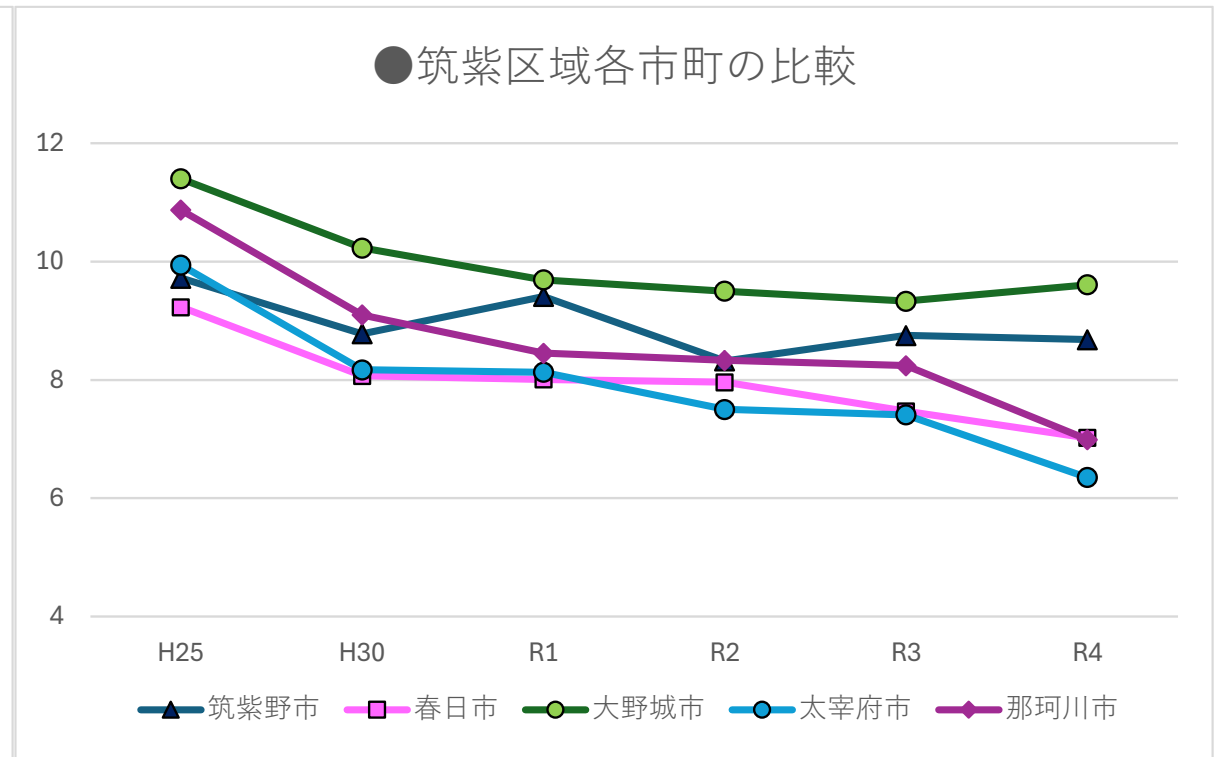
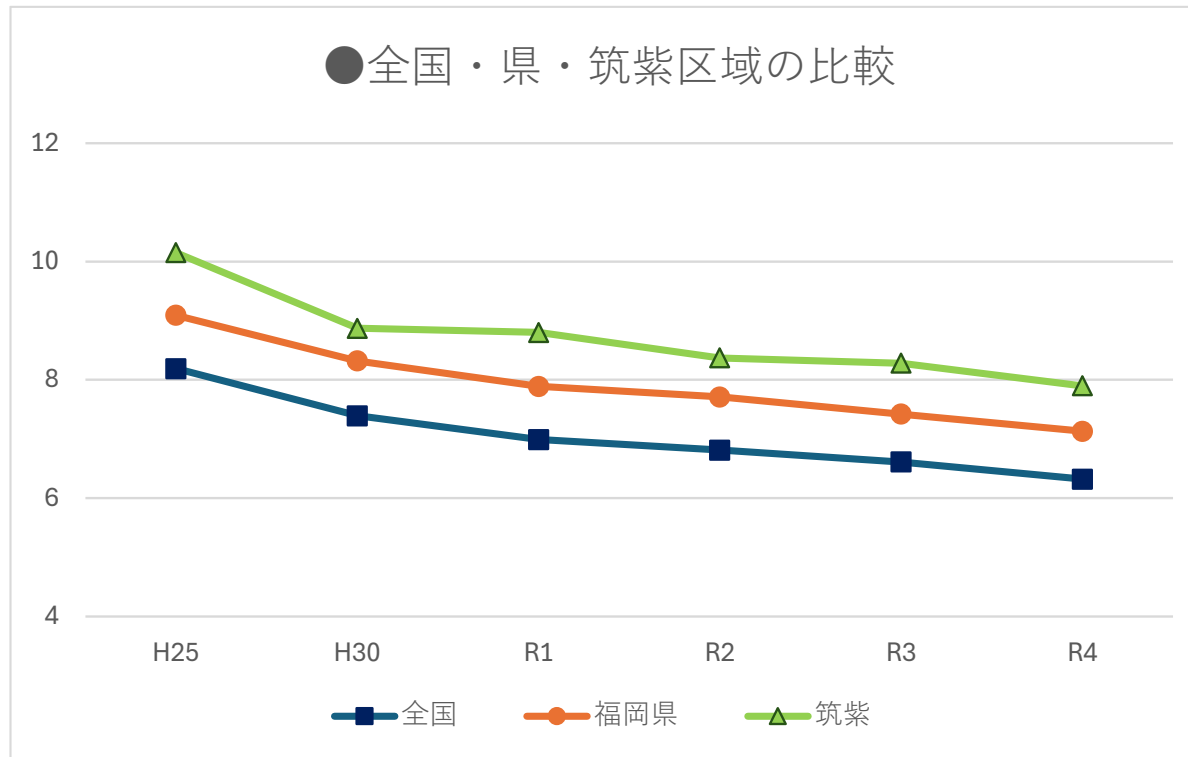
・就業者は、男女ともに流出が多い  
・通学者も、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、卸売業・小売業が最も多く、次いで、医療・福祉となっている  
いずれの業種も、昼間人口よりも夜間人口が多くなっている

表5) 昼間人口・夜間人口

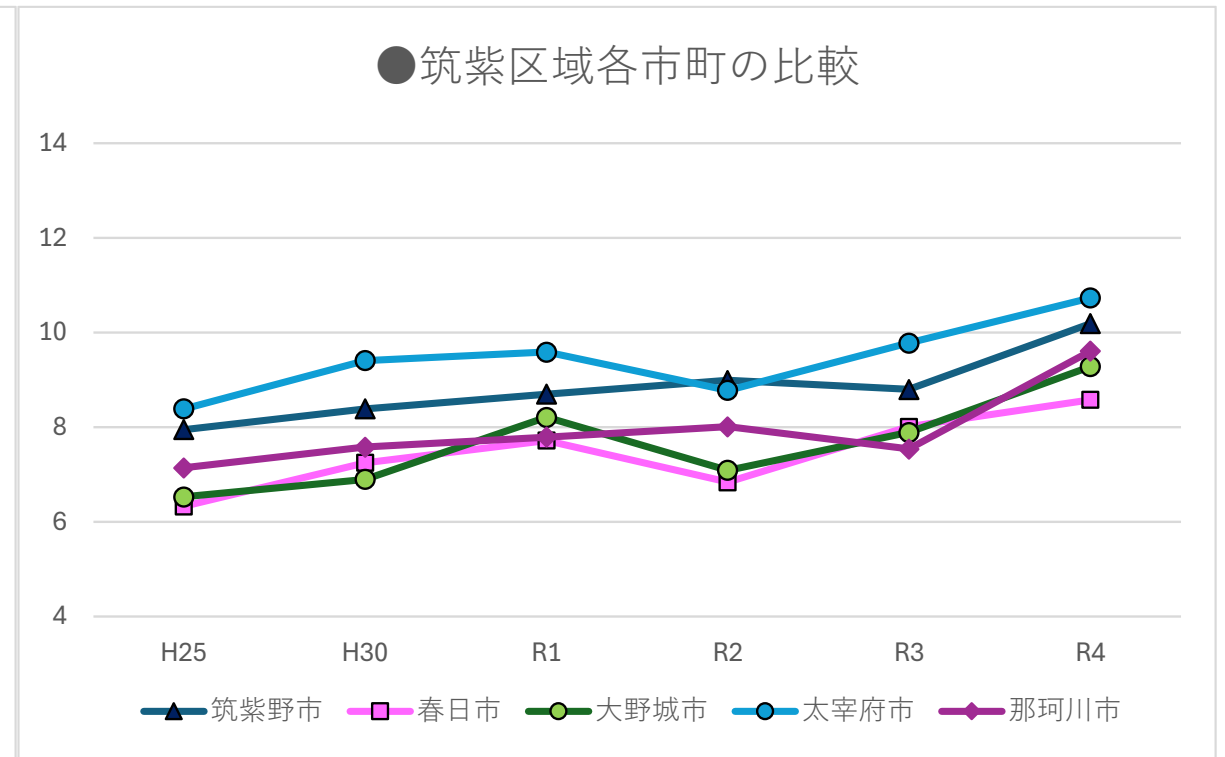
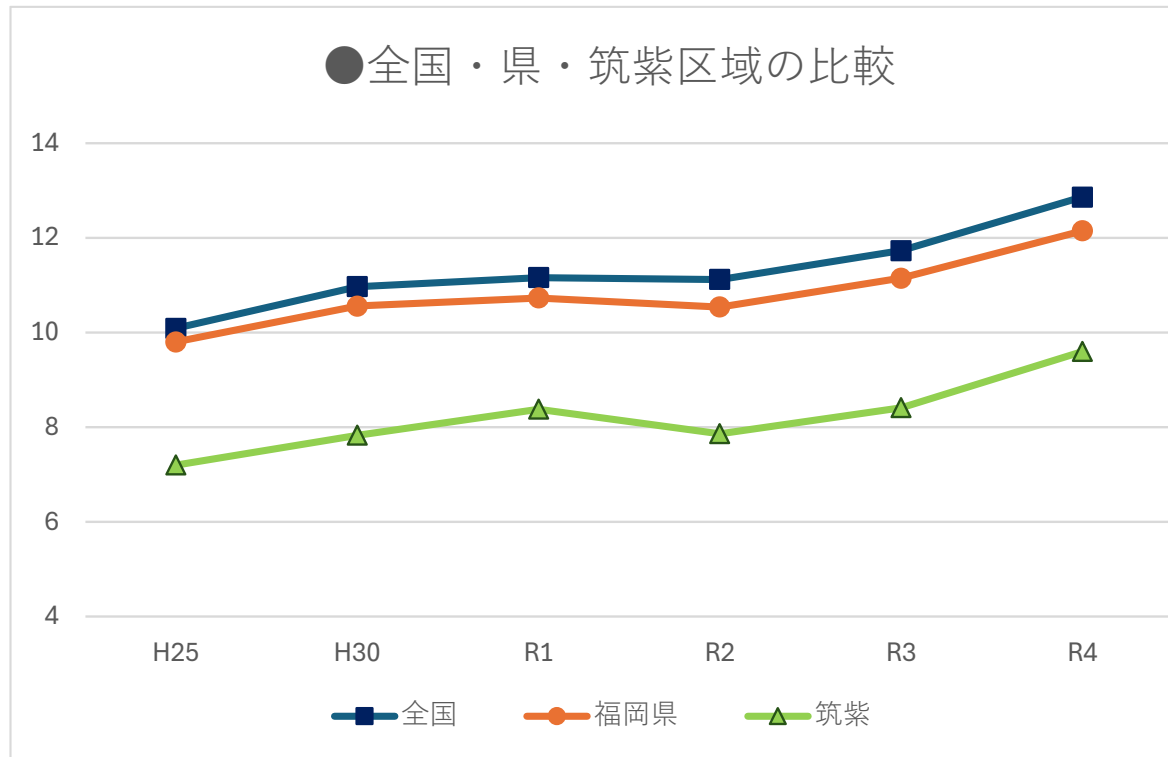


### 3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



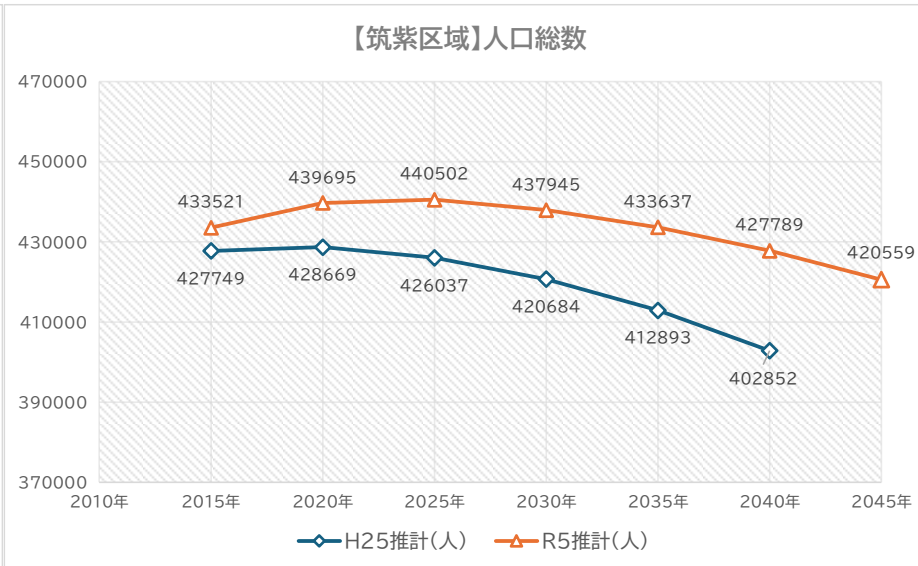
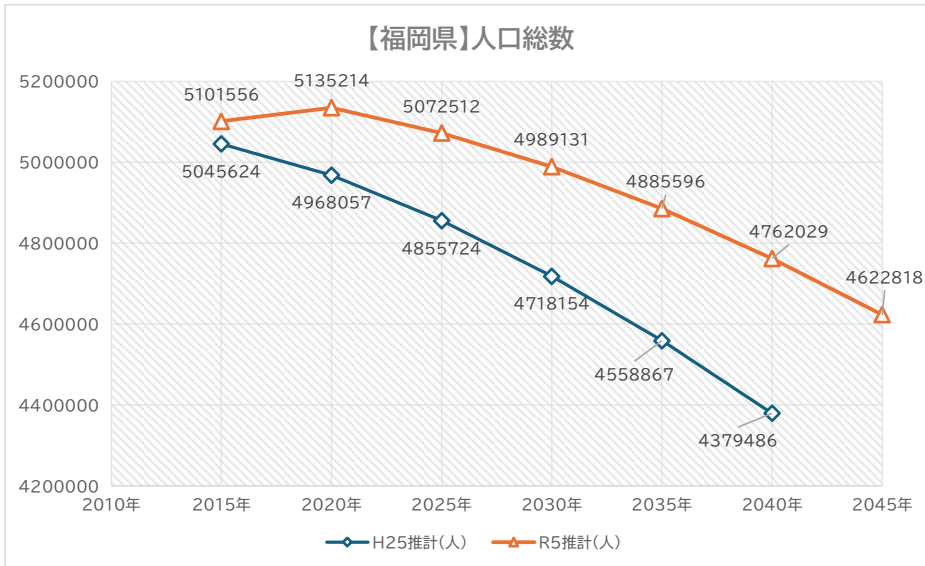
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、筑紫区域ともに低下傾向となっている
- ・市別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっているが、大野城市、筑紫野市は近年持ち直してきている
- ・R4年で出生率が県平均(7.1%)よりも高い市は大野城市、筑紫野市、最も低い市は太宰府市の6.4%である

## 4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、筑紫区域ともに上昇傾向となっている
- ・筑紫区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して低いものの、死亡率は上昇傾向にある
- ・市別に見ると、各市で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の死亡率は、全ての市で県平均(12.2%)よりも低く、最も低いのは春日市の8.6%である

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



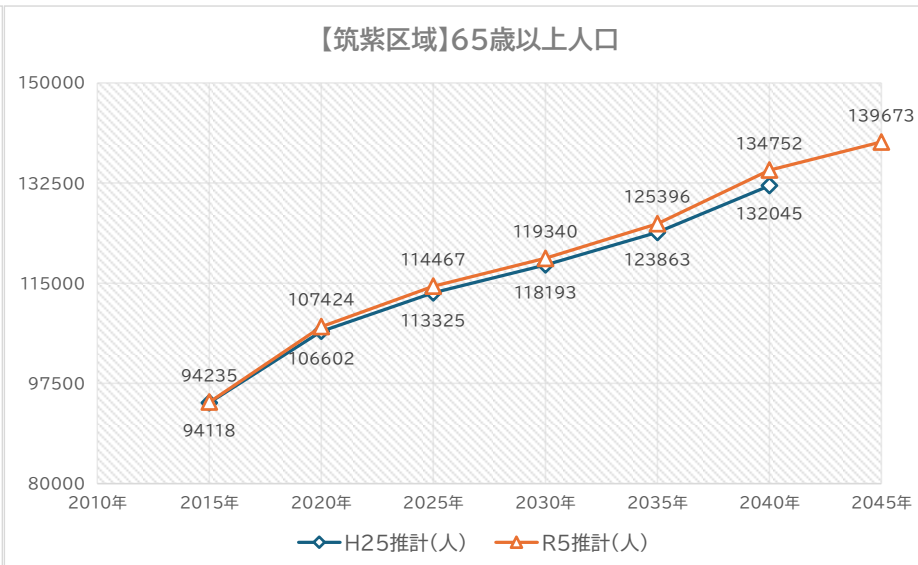
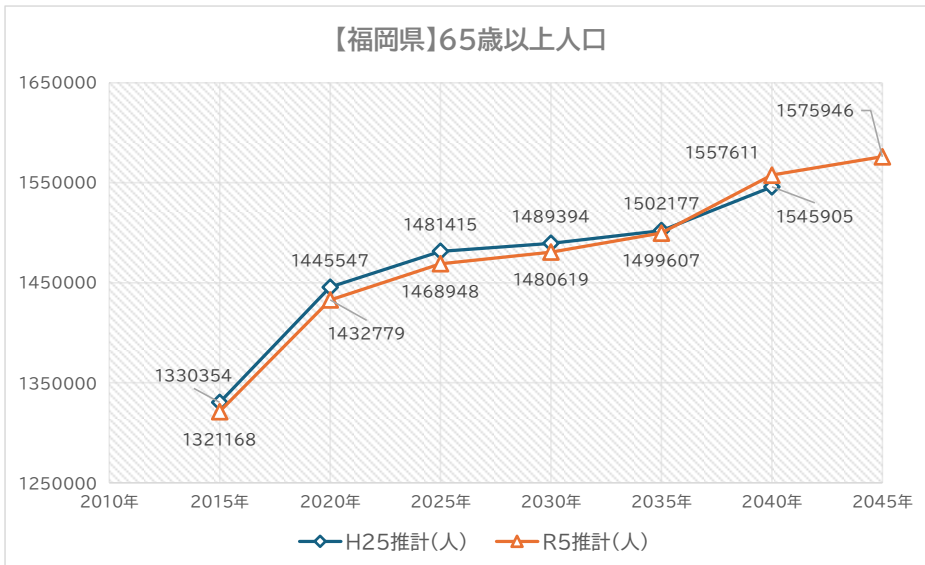
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

### 【筑紫区域】

当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも緩やかに推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

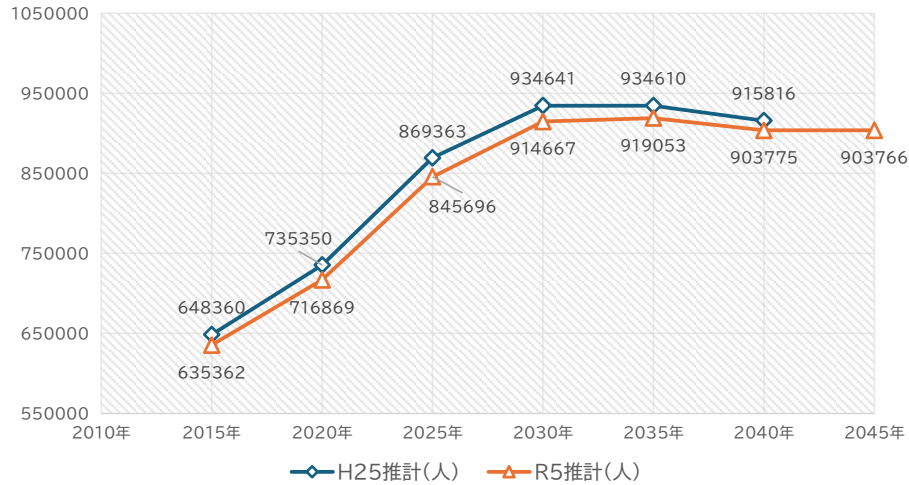
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

### 【筑紫区域】

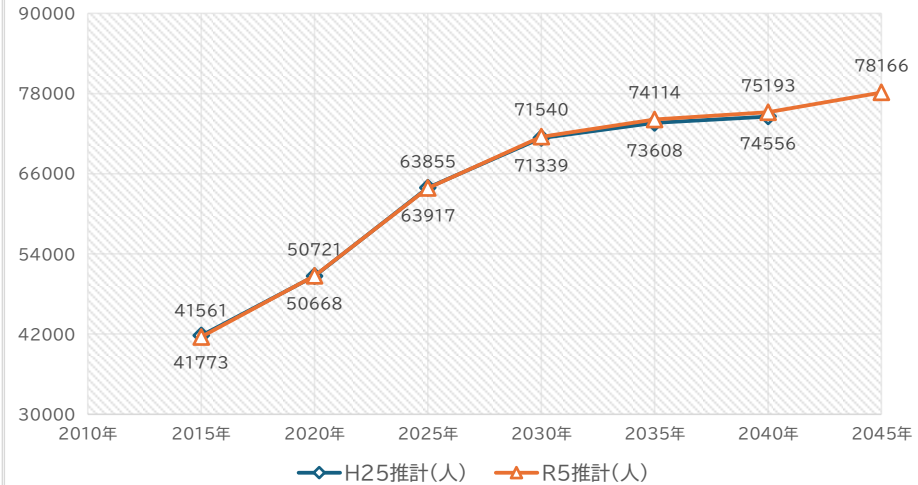
当初推計と同様の傾向で推移する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

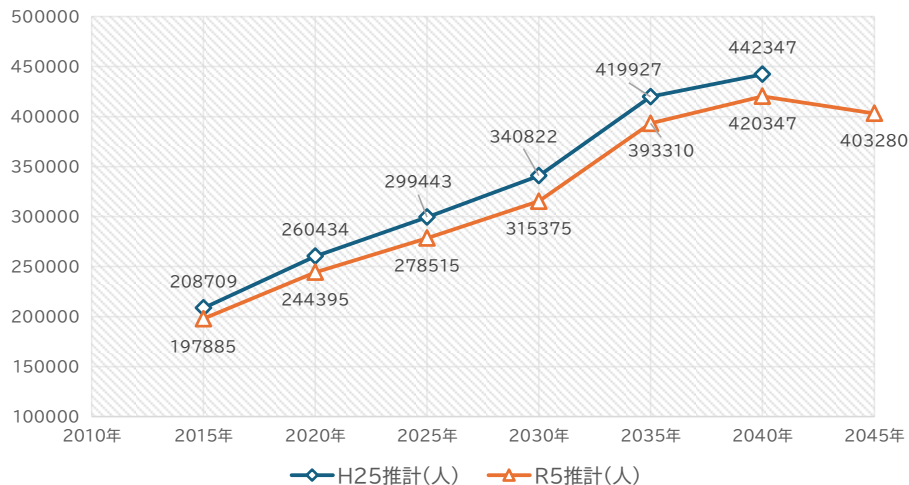
【福岡県】75歳以上人口



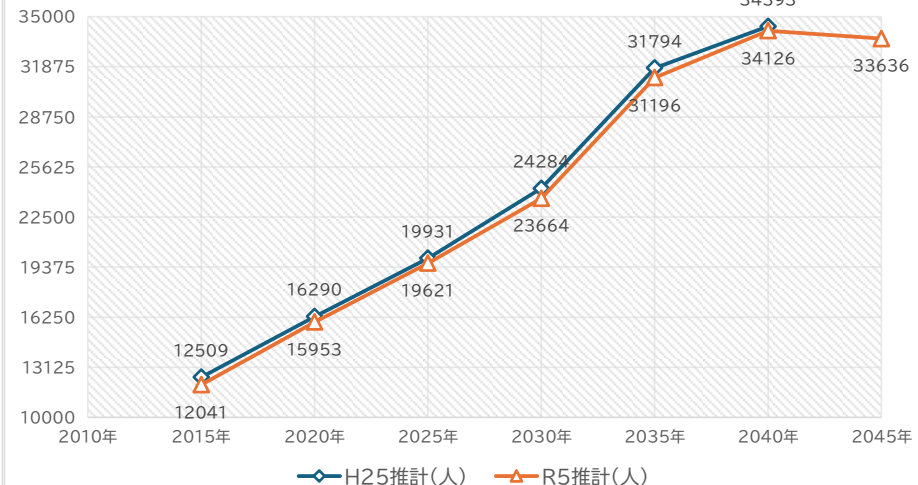
【筑紫区域】75歳以上人口



【福岡県】85歳以上人口



【筑紫区域】85歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは若干減少で推移する見込み

**【筑紫区域】**

当初推計と同様の傾向で推移する見込み

85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

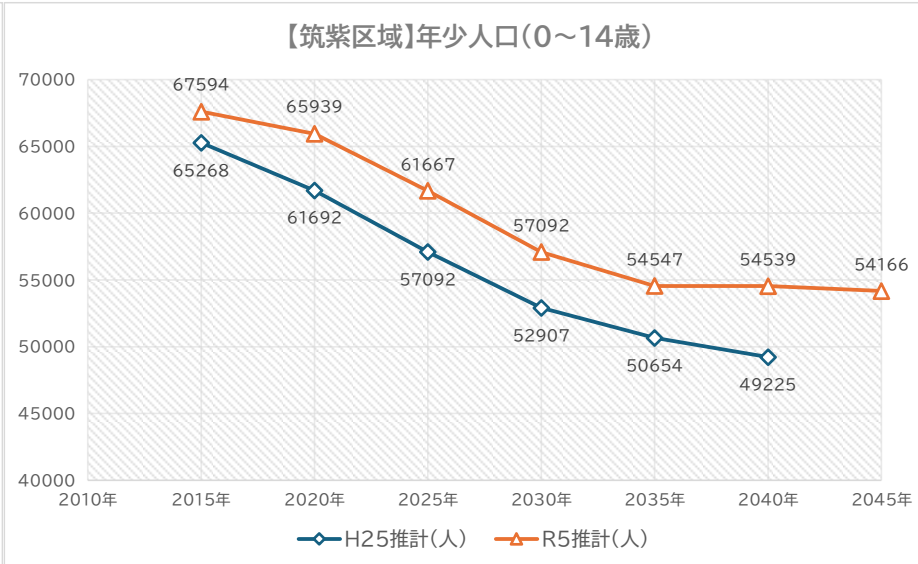
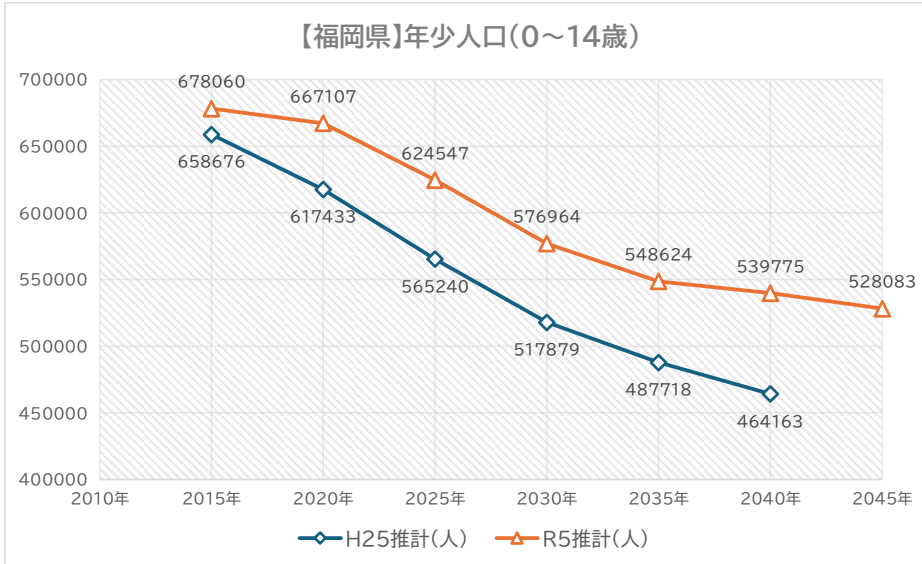
**【福岡県全体】**

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは若干減少する見込み

**【筑紫区域】**

当初推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

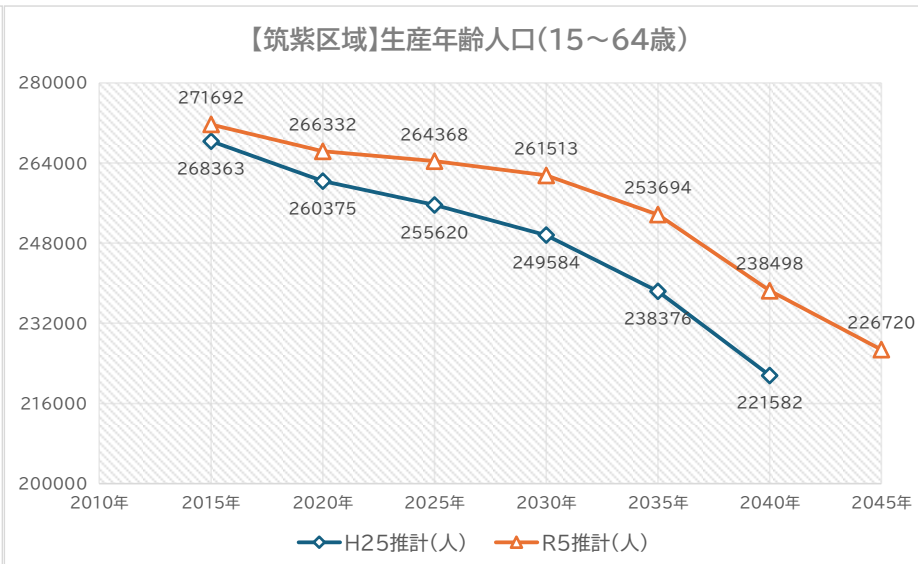
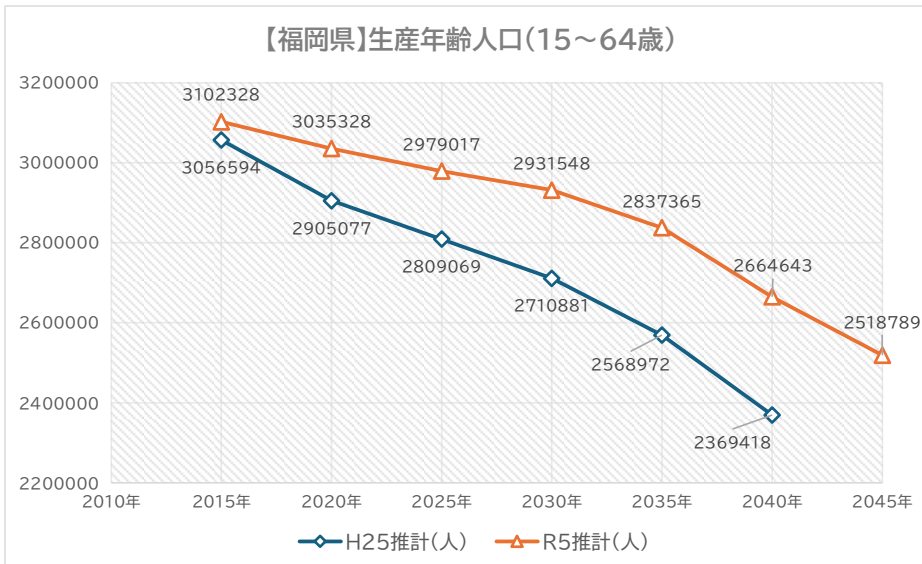
### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加で推移する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

### 【筑紫区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加で推移する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

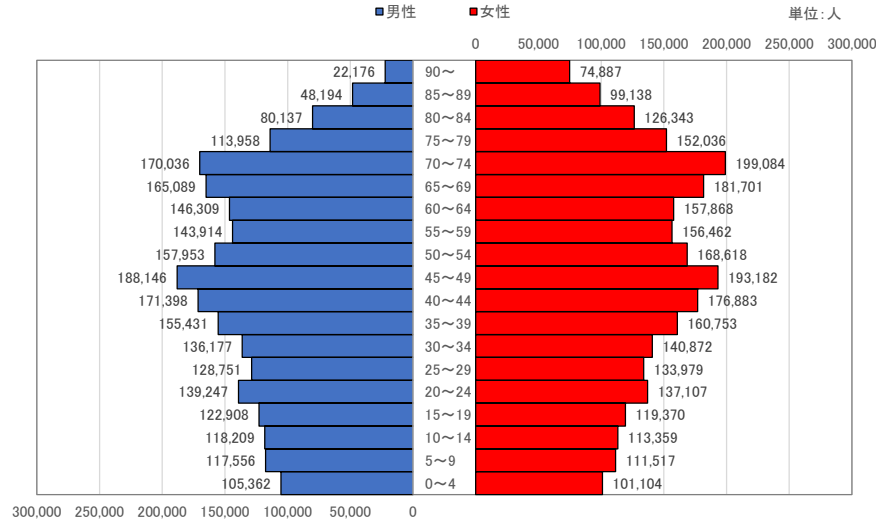
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加で推移する見込み

### 【筑紫区域】

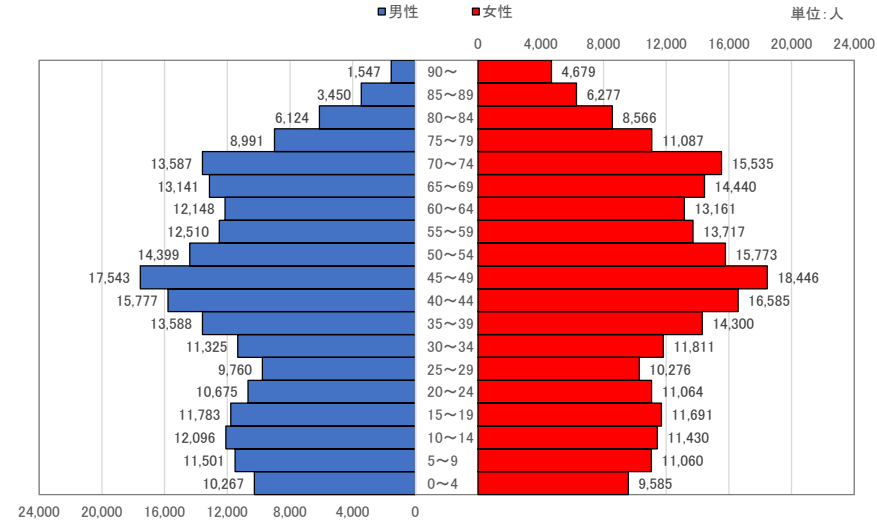
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加で推移する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(筑紫)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**  
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

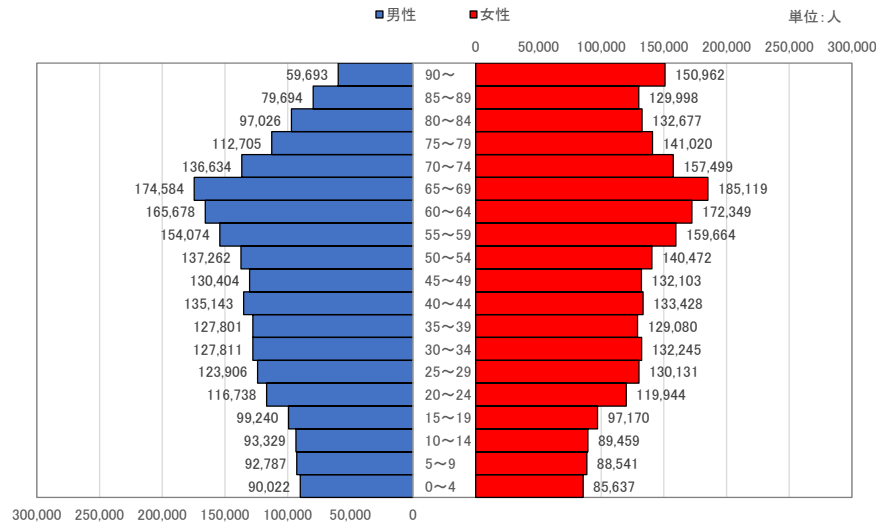
**【筑紫区域】**  
福岡県全体と比較して40代人口のボリュームが大きく、この年代の人口は一定の規模を維持している

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

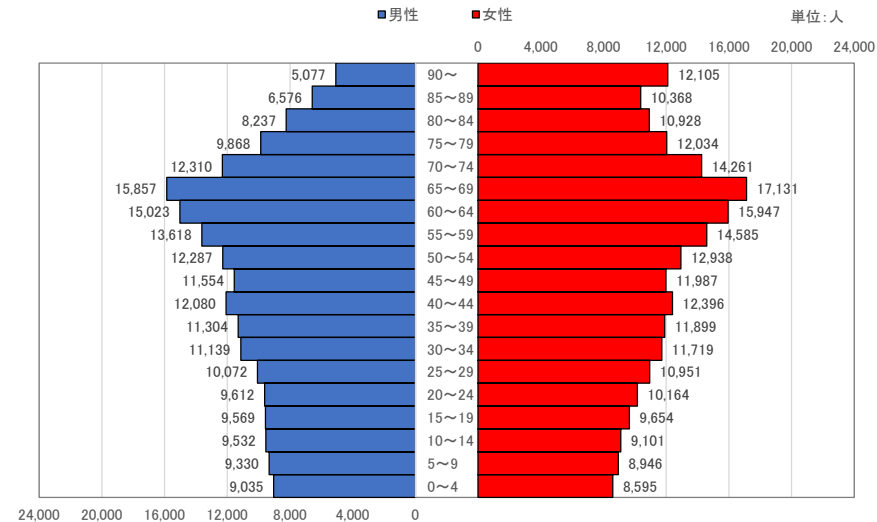
**【福岡県全体】**  
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

**【筑紫区域】**  
2020年時点に比べて少子高齢化が進み、年齢の低下とともに底が狭まった形状に変化しており、県全体と同じような傾向になっている

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(筑紫)2040年】



## 6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
筑紫野市	103,311	104,865	104,250	103,132	101,548	99,529	97,302	5.8%
春日市	111,023	110,361	108,737	106,914	104,862	102,552	99,936	10.0%
大野城市	102,085	103,504	103,506	103,102	102,192	100,784	99,002	3.0%
太宰府市	73,164	72,592	72,643	72,150	71,379	70,510	69,619	4.8%
那珂川市	50,112	49,180	48,809	48,339	47,808	47,184	46,437	7.3%
筑紫計	439,695	440,502	437,945	433,637	427,789	420,559	412,296	6.2%

・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で6.2%

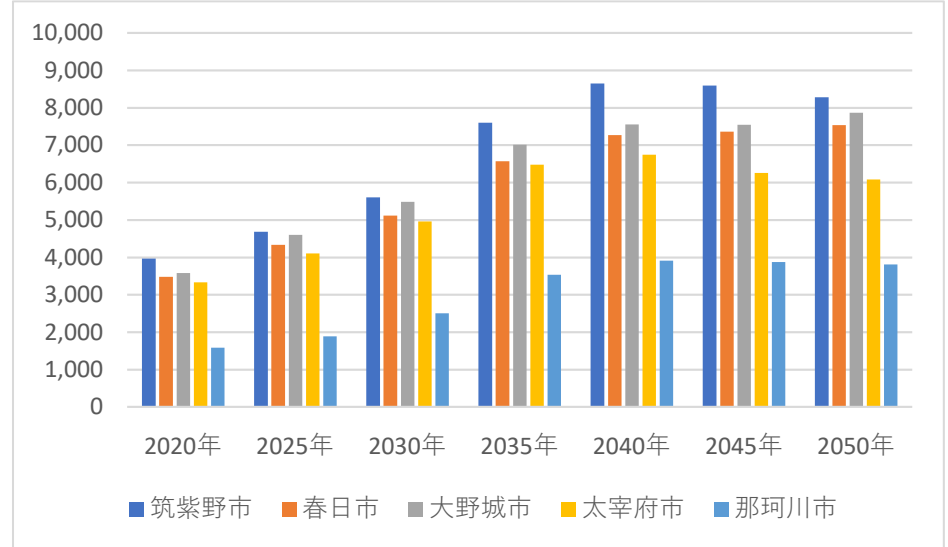
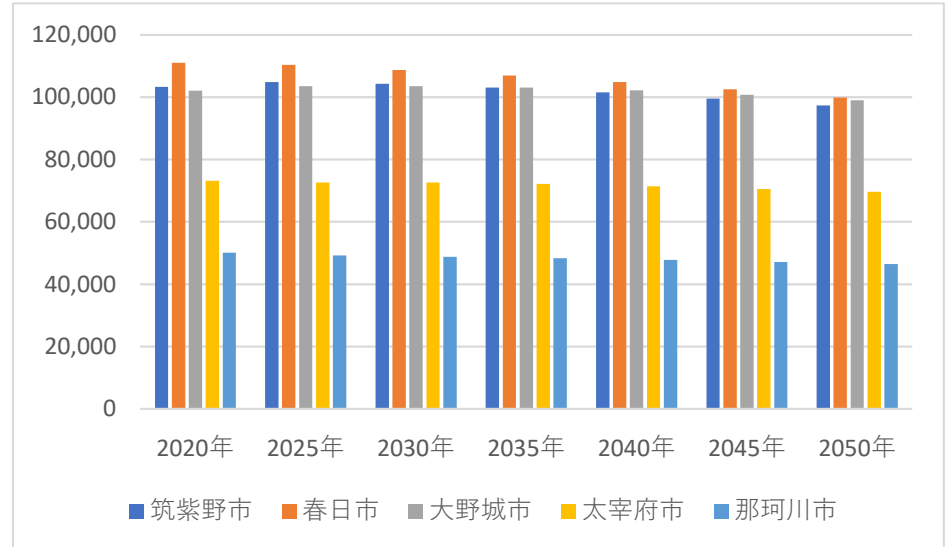
・減少率を市別で見ると、春日市が10.0%で最も高く、大野城市は3.0%と最も低い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
筑紫野市	3,972	4,685	5,601	7,604	8,650	8,594	8,283	117.8%
春日市	3,482	4,336	5,118	6,567	7,272	7,363	7,533	108.8%
大野城市	3,585	4,601	5,482	7,012	7,551	7,542	7,864	110.6%
太宰府市	3,331	4,108	4,960	6,476	6,741	6,261	6,086	102.4%
那珂川市	1,583	1,891	2,503	3,537	3,912	3,876	3,812	147.1%
筑紫計	15,953	19,621	23,664	31,196	34,126	33,636	33,578	113.9%

・多くの市が2040年にピークを迎え、その後減少していく

・春日市、大野城市は2050年まで増加する

・増加率を市別で見ると、那珂川市の増加率(2020→2040)が147.1%で最も高く、筑紫区域全体の増加率(113.9%)を大きく上回っている。最も増加率が低いのは太宰府市である



## 6. 市別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
筑紫野市	61,742	61,753	60,894	59,636	55,978	53,118	50,920	17.5%
春日市	69,188	68,051	66,274	63,273	59,268	56,345	54,236	21.6%
大野城市	63,111	63,411	62,917	61,454	58,250	55,544	53,541	15.2%
太宰府市	42,113	41,763	42,244	41,270	38,962	37,027	35,899	14.8%
那珂川市	30,178	29,390	29,184	28,061	26,040	24,686	23,902	20.8%
筑紫計	266,332	264,368	261,513	253,694	238,498	226,720	218,498	18.0%

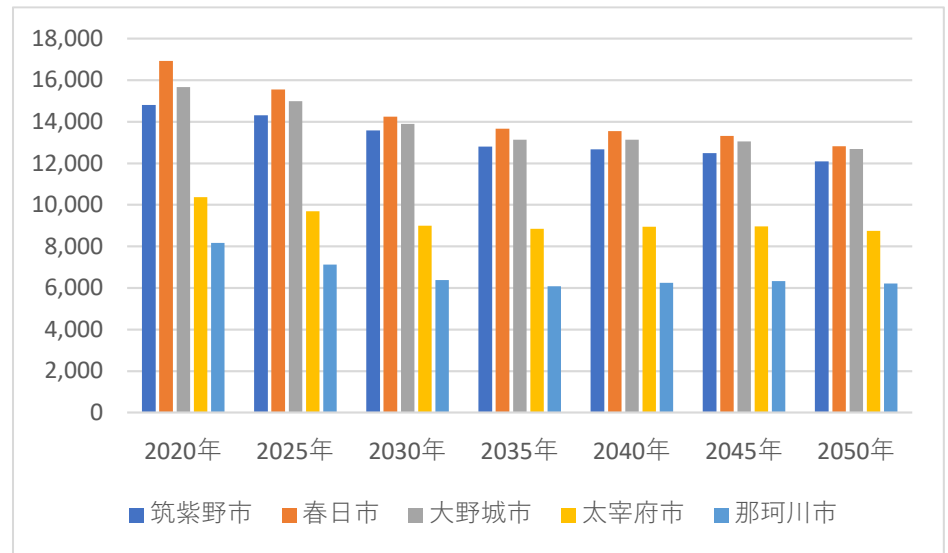
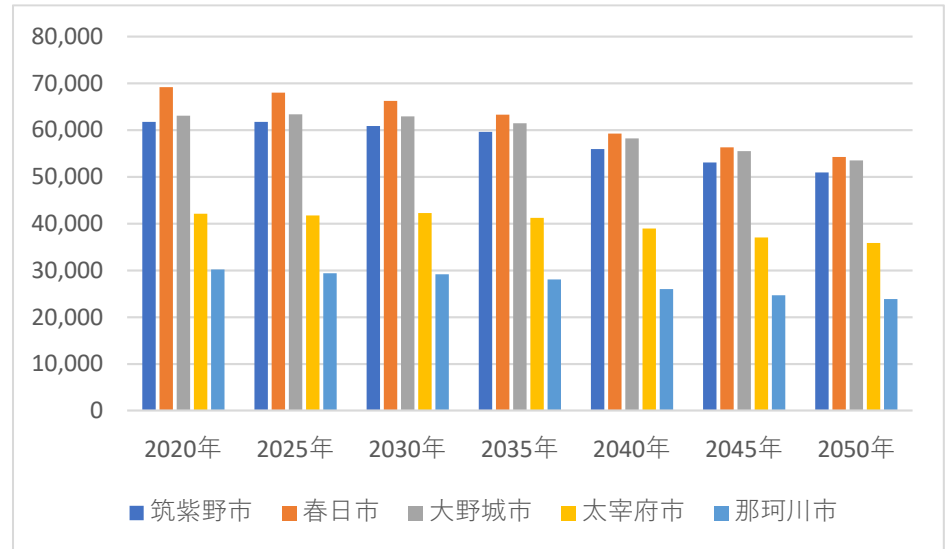
・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市別で見ると、春日市が21.6%で最も高く、次いで那珂川市の20.8%、太宰府市と大野城市は15%前後と他の市に比べて低くなっている

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
筑紫野市	14,814	14,316	13,585	12,804	12,668	12,485	12,089	18.4%
春日市	16,921	15,546	14,243	13,662	13,542	13,319	12,826	24.2%
大野城市	15,673	14,990	13,894	13,139	13,143	13,060	12,684	19.1%
太宰府市	10,370	9,695	8,996	8,853	8,940	8,965	8,752	15.6%
那珂川市	8,161	7,120	6,374	6,089	6,246	6,337	6,212	23.9%
筑紫計	65,939	61,667	57,092	54,547	54,539	54,166	52,563	20.3%

・いずれの市も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市別で見ると、春日市が24.2%で最も高く、次いで那珂川市の23.9%となっている。最も減少率が低いのは太宰府市の15.6%である



## 7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(筑紫地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	45.6%	33.3%	40.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	53.8%	25.0%	45.5%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	15.4%	13.6%	6.3%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	28.4%	15.4%	14.9%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	20.0%	30.0%	30.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	23.1%	13.3%	15.4%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	66.7%	28.6%	57.1%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	50.0%	30.0%	25.0%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	22.5%	35.7%	35.3%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	29.4%	25.2%	30.7%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	20.0%	7.7%	16.7%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	0.0%	33.3%	33.3%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	0.0%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[筑紫]入院:188(20.5%)、外来:102(22.7%)、入院+外来:97(24.2%)

・A~Nの分野ごとに見ると、筑紫区域では「リハビリテーション」、「医学管理等」、「精神」が高く、「在宅医療」の割合が低い

## 7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの

全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(筑紫地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	42.1%	50.0%	60.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	38.5%	66.7%	45.5%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	80.8%	81.8%	87.5%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	63.8%	78.6%	78.5%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	20.0%	60.0%	50.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	50.0%	75.0%	66.7%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	69.2%	80.0%	76.9%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	16.7%	57.1%	28.6%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	50.0%	70.0%	75.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	73.2%	57.1%	61.8%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	65.4%	72.3%	66.3%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	73.3%	92.3%	83.3%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	100.0%	66.7%	66.7%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	100.0%	100.0%	100.0%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[筑紫]入院:404(63.3%)、外来:267(68.8%)、入院+外来:292(76.6%)

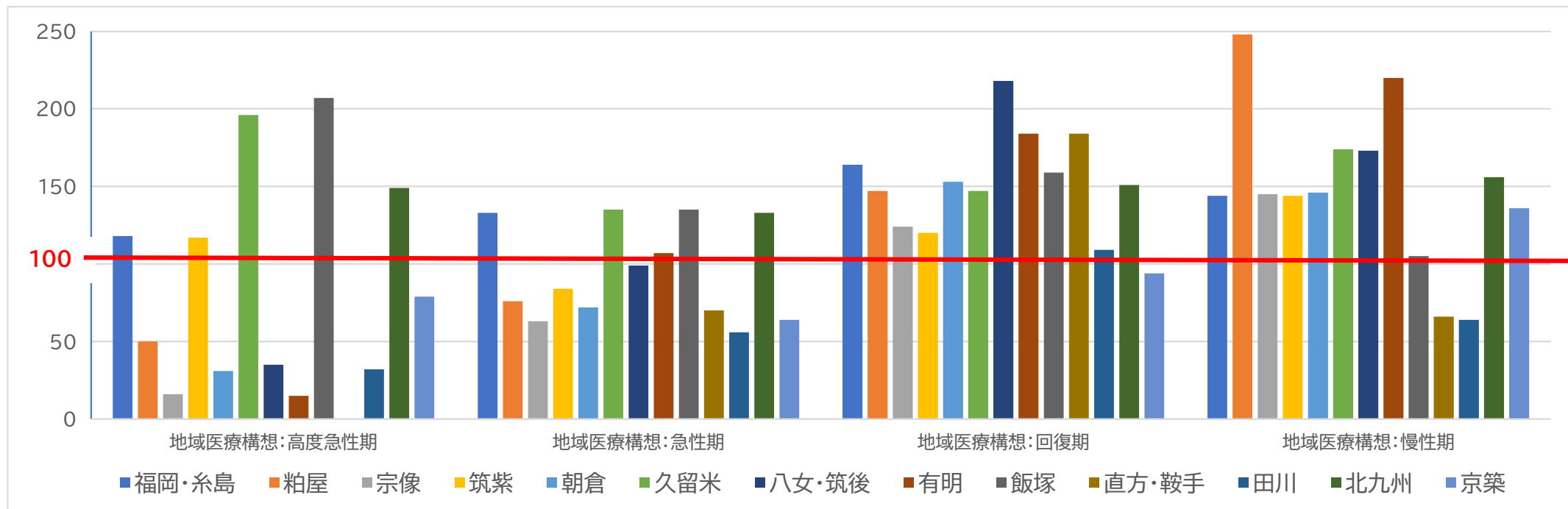
・筑紫区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向がある

## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

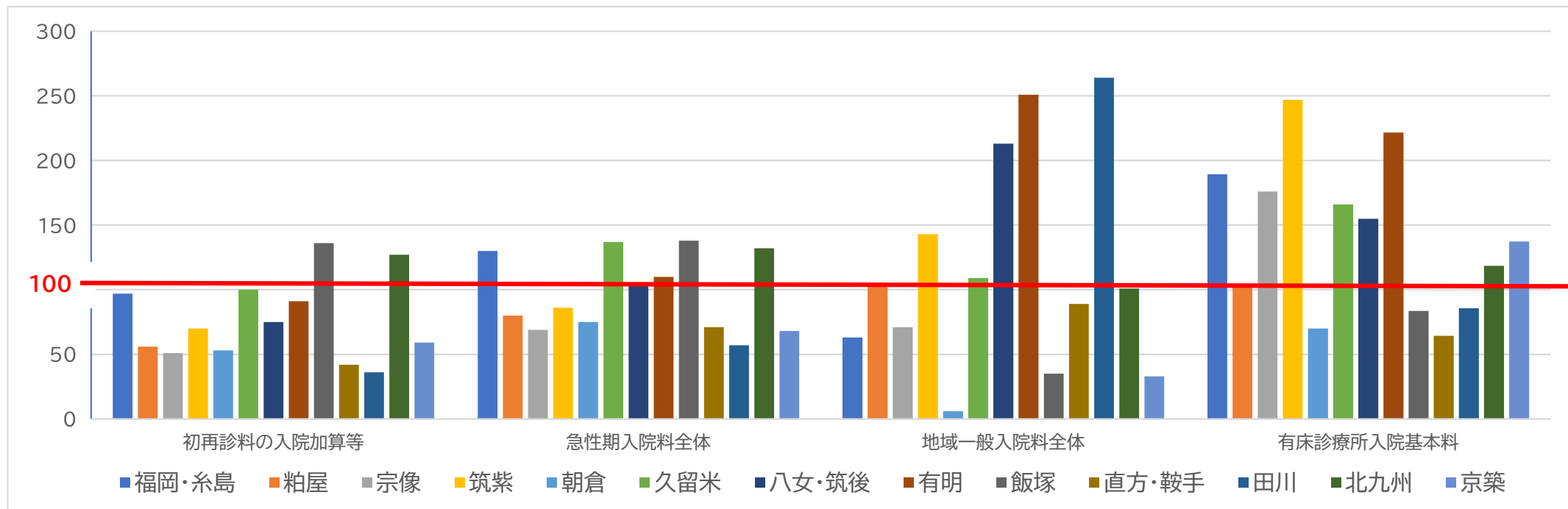


## 7. SCRの状況（各圏域ごとの比較②）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

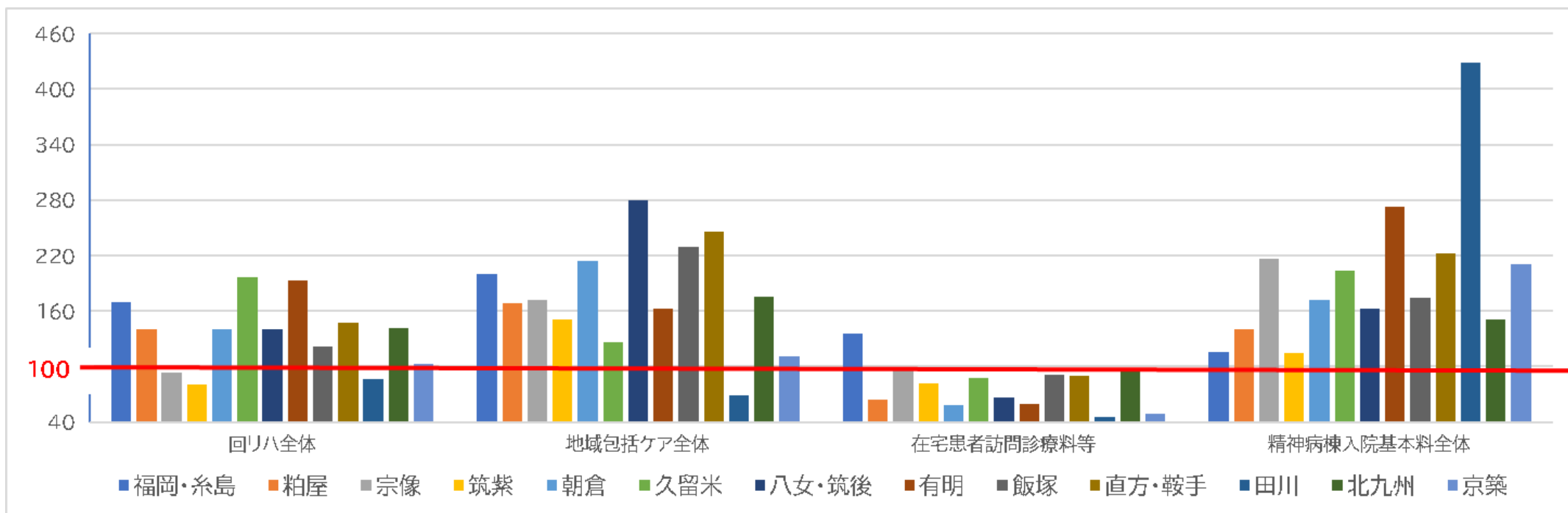
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較③)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

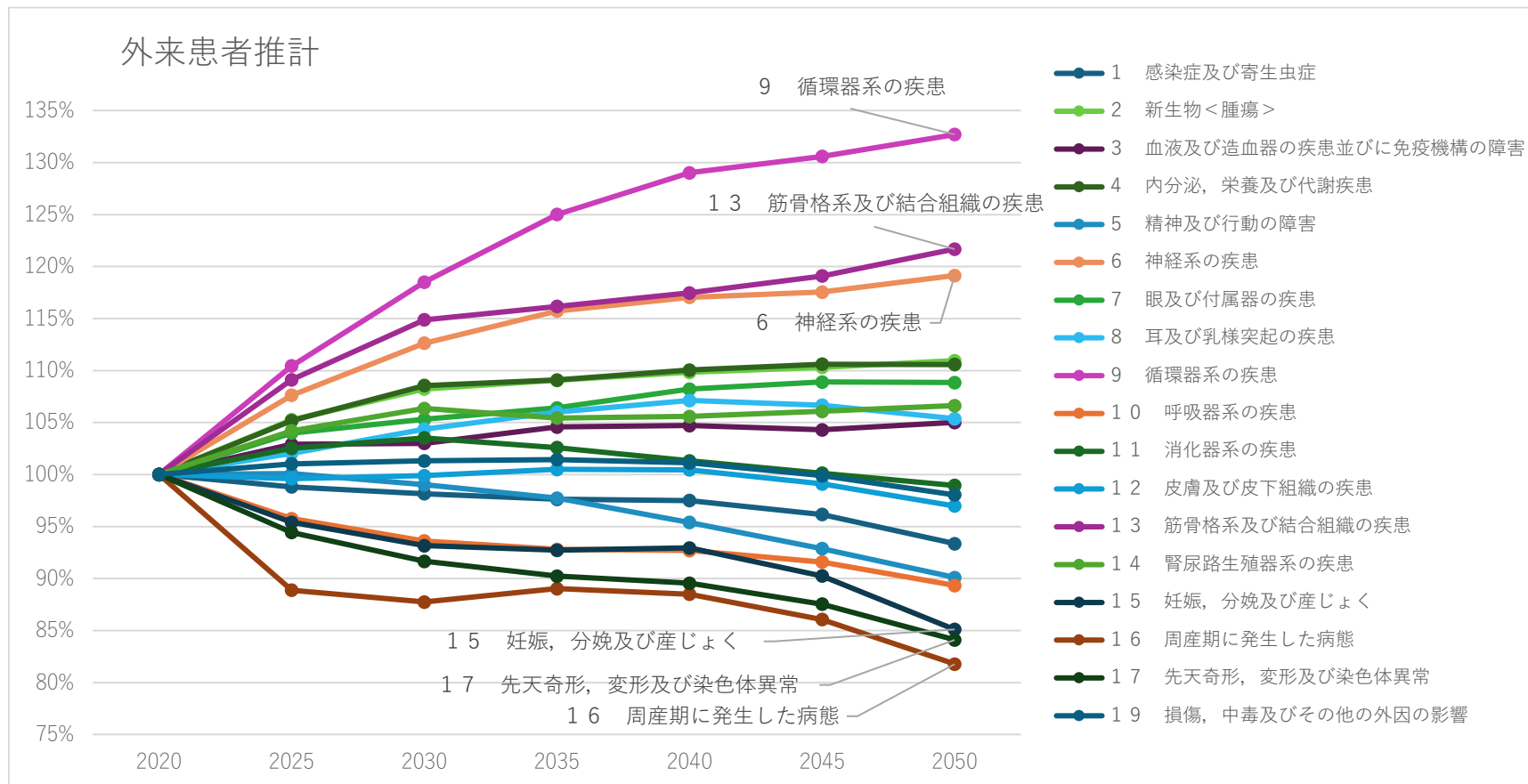


# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

筑紫区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

## 【外来患者推計】

周産期、分娩、先天奇形、感染症、神経、精神等は2020年がピークで、以降は減少していく見込み  
それ以外については、2020年以降も増加していく見込み



外来患者数は、多くの疾病が2050年時点で100%を上回っており、今後も外来患者は増え続けるものと思料

・増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列9〔循環器系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕  
(対応する診療科)  
→外科、整形外科、リウマチ科
- 系列6〔神経系の疾患〕  
(対応する診療科)  
→神経内科、脳神経外科

・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

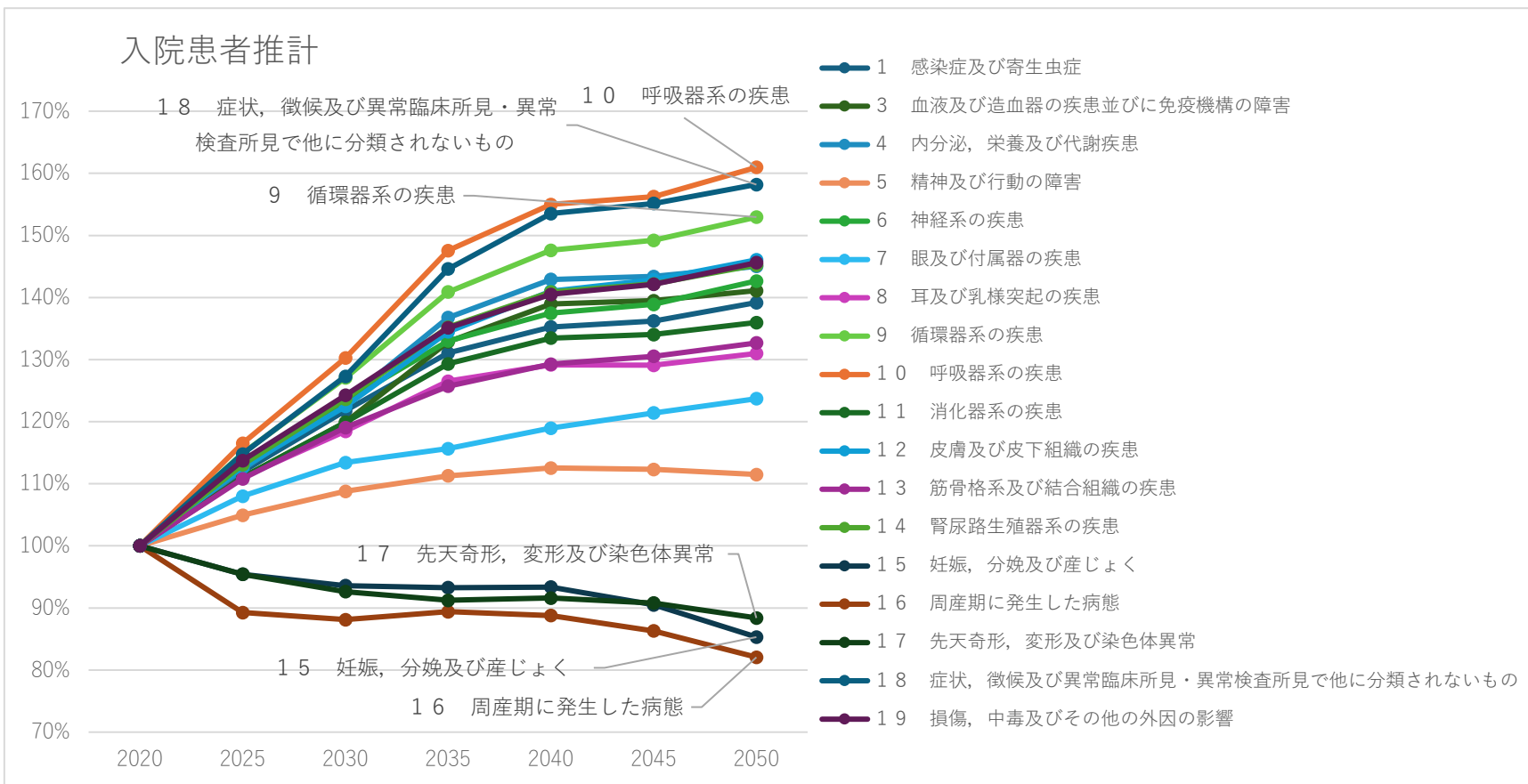
- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
(対応する診療科)  
→産婦人科、産科、婦人科

## 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

### 【入院患者推計】

周産期、分娩、先天奇形等は2020年がピークで、以降は減少していく見込み

それ以外については、2020年以降も増加していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、多くの疾病で、2050年時点で100%を上回っており、今後も入院患者は増え続けるものと思料

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列10〔呼吸器系の疾患〕

(対応する診療科)

→呼吸器内科、呼吸器外科

系列9〔循環器系の疾患〕

(対応する診療科)

→循環器内科、心臓血管外科

系列19〔損傷、中毒及びその他の外因の影響〕

(対応する診療科)

→外科、整形外科、形成外科

系列12〔皮膚及び皮下組織の疾患〕

(対応する診療科)

→皮膚科

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

系列16〔周産期に発生した病態〕

系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕

→産婦人科、産科、婦人科

## 9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
筑紫野市	病院	338	321.7
	診療	264	251.3
春日市	病院	74	70.4
	診療	294	265.7
大野城市	病院	211	190.7
	診療	83	75.0
太宰府市	病院	112	108.7
	診療	47	45.6
那珂川市	病院	65	63.1
	診療	78	107.2
筑紫計	病院	32	44.0
	診療	46	63.2
福岡県計	病院	55	110.3
	診療	11	22.1
筑紫計		877	198.7
福岡県計	病院	565	128.0
	診療	312	70.7
福岡県計		15,968	312.0
福岡県計	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	福岡・糸島	399.0	2/13	6/330
	粕屋	220.7	7/13	105/330
	筑紫	224.7	6/13	97/330
	朝倉	202.0	9/13	152/330
	久留米	407.8	1/13	4/330
	飯塚	341.3	3/13	21/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	福岡・糸島	128.1	3/13	75/303
	粕屋	81.7	11/13	250/303
	筑紫	85.0	10/13	228/303
	朝倉	94.9	8/13	189/303
	久留米	170.3	1/13	13/303
	飯塚	124.0	5/13	88/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数が100を切っている市はないが、診療所勤務医師数は100を切っている
- ・医師偏在指標を見ると、筑紫区域は医師全体の県内順位は6位であるが、小児科医師は県内順位の10位と低位にある

## 9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況(令和5年9月福岡県医療指導課)」

年齢階級	福岡・糸島	粕屋	筑紫	朝倉	久留米	飯塚	福岡県
90 -	9	0	0	0	0	2	23
85 - 89	20	1	2	0	5	1	43
80 - 84	22	2	5	0	9	4	74
75 - 79	59	4	12	3	32	7	208
70 - 74	167	18	31	7	52	15	466
65 - 69	175	24	41	3	44	24	550
60 - 64	201	30	34	11	34	17	544
55 - 59	169	18	27	6	33	10	419
50 - 54	119	11	25	2	28	11	321
45 - 49	108	13	22	4	29	5	243
40 - 44	46	8	11	3	7	3	121
35 - 39	14	0	3	0	3	0	31
30 - 34	6	0	0	0	0	0	9
- 29	1	0	0	0	0	0	1
Total	1,116	129	213	39	276	99	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、筑紫区域では「65-69」「60-64」が「70-74」の比較的高齢層がボリュームゾーンとなっている

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

# 10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 増加	増加 増加	減少 減少	増加 増加	減少 増加	増加 増加	減少 増加	増加	増加	増加 増加	減少 減少	増加		
	内科	消化器内科 (胃腸内科)	整形外科	小児科	循環器内科	精神科	外科	臨床研修医	皮膚科	眼科	耳鼻 いんこう科	脳神経外科	産婦人科	泌尿器科	放射線科
筑紫野市	34	54	25	15	21	19	19	13	7	10	9	12	5	11	11
春日市	36	10	23	26	19	5	24	25	13	7	9	8	10	7	8
大野城市	42	5	8	5	6	10	4	-	3	5	3	1	5	3	1
太宰府市	21	1	6	5	5	17	1	-	5	3	3	1	-	1	-
那珂川市	16	4	8	3	2	2	2	-	1	2	2	2	4	1	2
筑紫	149	74	70	54	53	53	50	38	29	27	26	24	24	23	22

外来 入院		増加	減少 増加	増加	減少	減少 増加	減少 増加	減少 増加	減少 増加	増加 増加	減少 増加				
	麻酔科	糖尿病内科 (代謝内科)	呼吸器内科	腎臓内科	脳神経内科	形成外科	救急科	呼吸器外科	リハビリテー ション科	病理診断科	心療内科	心臓血管 外科	消化器外科 (胃腸外科)	肛門外科	集中治療科
筑紫野市	11	10	13	10	7	-	2	4	1	4	-	1	5	-	-
春日市	9	3	4	3	1	8	6	1	2	3	5	4	-	3	3
大野城市	-	2	-	-	1	1	-	-	4	-	1	-	-	1	-
太宰府市	-	3	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
那珂川市	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
筑紫	21	18	17	16	10	9	8	7	7	7	6	5	5	4	3

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来  
入院

減少  
減少  
増加  
増加

	乳腺外科	小児外科	リウマチ科	臨床検査科	その他	不詳
筑紫野市	-	-	1	-	3	1
春日市	1	-	-	1	6	1
大野城市	1	-	-	-	-	-
太宰府市	-	2	-	-	-	-
那珂川市	-	-	-	-	-	1
筑紫	2	2	1	1	9	3

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・外来医師偏在指標上は外来医師多数区域ではないが、(狭い地域に)診療所が多くあり、指標で示されている以上に外来医師は多い
- ・同じような診療科の医療機関が密集している地域がある
- ・産科が不足している
- ・小児救急・学校医・産業医・死体検案を担う医師が足りない

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

# 11. 医療従事者数〔常勤医師①〕 (令和5年度「病床機能報告」)

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
筑紫野市	福岡大学筑紫病院		165.8	99.0%	359.3	0.4	308	0	0	0	0	86.8%	3,615
		常勤	164		352	0							
		非常勤	1.8		7.3	0.4							
	福岡県済生会二日市病院		71.4	84.0%	290	1	8	252	0	0	0	86.5%	3,841
		常勤	60		276	1							
		非常勤	11.4		14	0							
	医療法人徳洲会 二日市徳洲会病院		3	100.0%	32.5	4.8	0	0	0	52	0	90.5%	0
		常勤	3		32	4							
		非常勤	0		0.5	0.8							
	医療法人文杏堂杉病院		8.8	57.0%	38.5	5.4	0	0	36	36	0	95.9%	*
		常勤	5		36	5							
		非常勤	3.8		2.5	0.4							
	医療法人 小西第一病院		11.1	45.0%	55.8	6	0	0	121	0	0	93.0%	0
		常勤	5		44	4							
		非常勤	6.1		11.8	2							
	社会医療法人 喜悦会 二日市那珂川病院		6.3	63.0%	30.2	4	0	14	0	36	0	34.9%	*
		常勤	4		28	4							
		非常勤	2.3		2.2	0							
高山病院		11.3	80.0%	49.6	0	0	50	0	0	0	62.9%	*	
	常勤	9		45	0								
	非常勤	2.3		4.6	0								
医療法人燦宗会どい内科クリニック		1.7	59.0%	5.5	4.5	0	0	0	19	0	80.2%	*	
	常勤	1		5	4								
	非常勤	0.7		0.5	0.5								
医療法人西本内科医院		1	100.0%	7	4	0	0	15	0	0	22.4%	0	
	常勤	1		3	2								
	非常勤	0		4	2								
医療法人エンジェル会 永川産婦人科医院		4	50.0%	3.1	3.9	0	19	0	0	0	22.0%	*	
	常勤	2		2	2								
	非常勤	2		1.1	1.9								

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
筑紫野市	医療法人北城整形外科医院		1.3	77.0%	3	6	0	0	19	0	0	98.9%	*
		常勤	1		3	6							
		非常勤	0.3		0	0							
	医療法人徳永外科医院		1	100.0%	4	1	0	0	0	0	19	0.0%	0
		常勤	1		1	0							
		非常勤	0		3	1							
早瀬川医院		1	100.0%	0	1	0	0	0	0	2	0.0%	0	
	常勤	1		0	0								
	非常勤	0		0	1								
春日市	医療法人春成会 樋口病院		13.8	72.0%	57	2	0	60	0	0	0	96.3%	*
		常勤	10		55	2							
		非常勤	3.8		2	0							
	医療法人徳洲会福岡徳洲会病院		158.3	91.0%	600.5	7.6	58	544	0	0	0	90.6%	11,642
		常勤	144		580	3							
		非常勤	14.3		20.5	4.6							
	渡辺病院		0	-	18.2	2	0	0	0	51	0	79.2%	0
		常勤	0		16	2							
		非常勤	0		2.2	0							
	自衛隊福岡病院		30.6	98.0%	124	11	0	146	0	24	0	11.5%	411
		常勤	30		124	11							
		非常勤	0.6		0	0							
	石津病院		4	50.0%	31.3	7.5	0	0	0	60	0	71.3%	*
		常勤	2		29	7							
		非常勤	2		2.3	0.5							
医療法人平塚整形外科医院		2	100.0%	6	10	0	0	0	16	0	40.0%	0	
	常勤	2		6	10								
	非常勤	0		0	0								
医療法人マインド伊原春日クリニック		4	75.0%	15.2	2	0	19	0	0	0	8.5%	*	
	常勤	3		13	2								
	非常勤	1		2.2	0								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
春日市	医療法人城野産婦人科クリニック		4	100.0%	0	5	0	18	0	0	0	12.1%	0
		常勤	4		0	5							
		非常勤	0		0	0							
	医療法人和田整形外科医院		1	100.0%	3.7	3.4	0	19	0	0	0	38.1%	*
		常勤	1		3	3							
		非常勤	0		0.7	0.4							
	医療法人 祐志会 中村整形外科医院		2	100.0%	1	7	0	18	0	0	0	3.9%	0
		常勤	2		1	7							
		非常勤	0		0	0							
	医療法人いわみ肛門クリニック		3	100.0%	15	2	0	19	0	0	0	88.9%	0
常勤		3	11		1								
非常勤		0	4		1								
円入橋胃腸科外科医院		1	100.0%	2	1	0	0	0	0	16	0.0%	0	
	常勤	1		2	1								
	非常勤	0		0	0								
大野城市	医療法人文佑会 原病院		8.1	62.0%	93.2	39	0	20	33	50	0	86.0%	*
		常勤	5		85	39							
		非常勤	3.1		8.2	0							
	特定医療法人社団三光会誠愛リハビリテーション病院		12.6	56.0%	102.1	5	0	0	206	0	0	85.5%	0
		常勤	7		96	5							
		非常勤	5.6		6.1	0							
	医療法人芙蓉会筑紫南ヶ丘病院		8.1	74.0%	67.5	19.3	0	60	70	120	0	85.5%	*
		常勤	6		61	16							
		非常勤	2.1		6.5	3.3							
	医療法人同仁会乙金病院		9.4	74.0%	53.6	21.6	0	0	0	50	0	92.6%	*
常勤		7	50		16								
非常勤		2.4	3.6		5.6								
医療法人社団 扶洋会 秦病院		6.8	74.0%	30	6	0	50	0	54	0	98.2%	*	
	常勤	5		30	6								
	非常勤	1.8		0	0								

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師④〕 (令和5年度「病床機能報告」)

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
大野城市	医療法人つくし会病院	8.4	24.0%	36	18.1	0	0	0	292	0	88.2%	0	
		常勤 2		31	16								
	非常勤 6.4		5	2.1									
	医療法人十全会+おおりん病院	0	-	11.2	6.2	0	0	0	38	0	56.5%	0	
		常勤 0		11	6								
	非常勤 0		0.2	0.2									
	医療法人天信会 あまがせ産婦人科	5	100.0%	8.4	6	0	19	0	0	0	165.8%	0	
		常勤 5		5	6								
	非常勤 0		3.4	0									
	まなべ産婦人科医院	1	100.0%	3	4	0	0	11	0	0	8.1%	*	
		常勤 1		0	0								
	非常勤 0		3	4									
医療法人桂雅会 毛利外科医院	2	100.0%	1	6.6	0	19	0	0	0	47.1%	*		
	常勤 2		1	5									
非常勤 0		0	1.6										
たなか夏樹医院	1.5	67.0%	4	4	0	0	0	0	19	0.0%	0		
	常勤 1		0	0									
非常勤 0.5		4	4										
太宰府市	医療法人恵山会 丸山病院	7.7	39.0%	21.9	10.9	0	52	0	58	0	83.8%	*	
		常勤 3		17	7								
	非常勤 4.7		4.9	3.9									
	医療法人鵬志会 別府病院	31.2	90.0%	27.9	4.8	0	60	0	0	0	102.1%	0	
		常勤 28		25	4								
	非常勤 3.2		2.9	0.8									
	水城病院	9.4	74.0%	28.9	9.2	0	0	0	112	0	95.7%	0	
		常勤 7		24	8								
	非常勤 2.4		4.9	1.2									
	医療法人岩崎外科胃腸科医院	1	100.0%	1.5	1.5	0	0	0	0	19	0.0%	0	
		常勤 1		1	1								
	非常勤 0		0.5	0.5									

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

# 11. 医療従事者数〔常勤医師⑤〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
太宰府市	医療法人 あきよし外科胃腸科 医院		1.2	83.0%	5.4	3.7	0	19	0	0	0	63.0%	*	
		常勤	1		3	2								
		非常勤	0.2		2.4	1.7								
	こが整形外科クリニック		1.3	77.0%	13.6	1.3	0	19	0	0	0	42.1%	*	
		常勤	1		12	0								
		非常勤	0.3		1.6	1.3								
	医療法人光宝 島本脳神経外科		1.1	91.0%	6	3.8	0	19	0	0	0	92.9%	*	
		常勤	1		6	3								
		非常勤	0.1		0	0.8								
	医療法人西川整形外科医院		3	67.0%	2	7	0	0	19	0	0	37.9%	0	
常勤		2	2		7									
非常勤		1	0		0									
医療法人健成会 鹿子生整形外科医院		2.6	77.0%	8	3	0	0	19	0	0	81.0%	*		
	常勤	2		7	1									
	非常勤	0.6		1	2									
那珂川市	社会医療法人 喜悦会 ちくし 那珂川病院		0	-	44	2	0	24	0	75	0	77.5%	0	救急告示
		常勤	0		44	2								
		非常勤	0		0	0								
	医療法人正明会 諸岡整形外科 病院		35.4	82.0%	31.5	5	0	60	0	0	0	88.5%	322	救急告示
		常勤	29		31	4								
		非常勤	6.4		0.5	1								
	医療法人正明会 諸岡整形外科 クリニック		6.1	16.0%	16	10	0	13	0	0	0	56.8%	0	
		常勤	1		8	5								
		非常勤	5.1		8	5								
	医療法人竹田胃腸科外科医院		1	100.0%	0.4	1.9	0	0	0	19	0	0.4%	0	
常勤		1	0		1									
非常勤		0	0.4		0.9									
医療法人光竹会 ごう脳神経外 科クリニック		2	100.0%	10.5	3	0	19	0	0	0	64.5%	0		
	常勤	2		10	3									
	非常勤	0		0.5	0									

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「\*」表記

# 11. 医療従事者数〔常勤医師⑥〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数	常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
						高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
那珂川市	マミーズクリニックルナ		3.3	91.0%	5	1	0	17	0	0	0	40.9%	*
		常勤	3		5	1							
		非常勤	0.3		0	0							

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

## 12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

### ●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):366千円(偏差値49)

一人当たり介護給付費:216千円(偏差値35)

### ●【医療の現状】

病院数:27、人口10万人当たり6.1(偏差値49)

診療所数:300、人口10万人当たり68(偏差値43)

総医師数:1,024、人口10万人当たり233(偏差値43)

専門医数

小児科:35、人口10万人当たり8.0(偏差値43)

産婦人科:12、人口10万人当たり2.7(偏差値35)

総合内科:82、人口10万人当たり18.6(偏差値44)

看護師数:3,520、人口10万人当たり801(偏差値46)

### ●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:4,683、75歳以上1,000人当たり92(偏差値47)

(うち、介護保険施設定員:2,331、75歳以上1,000人当たり46(偏差値43)

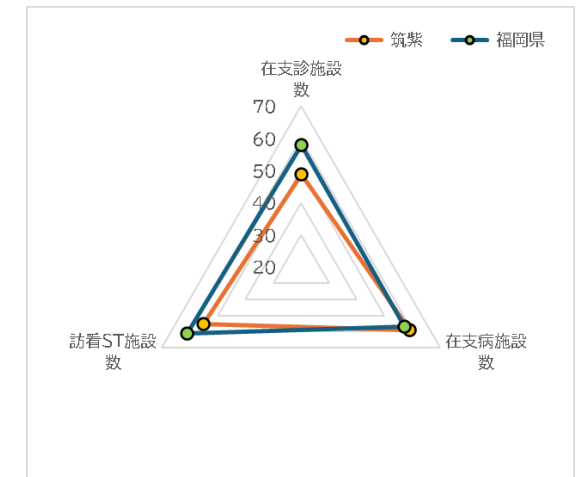
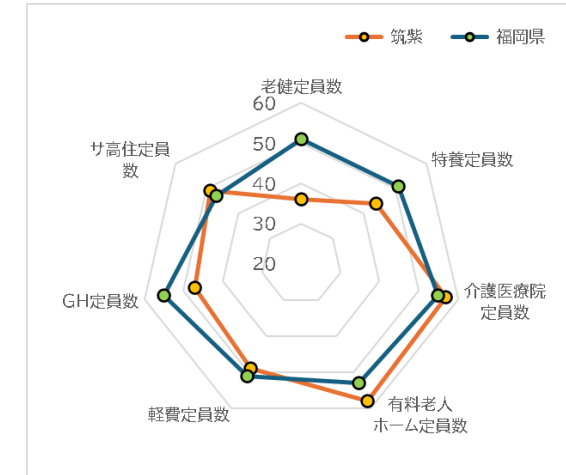
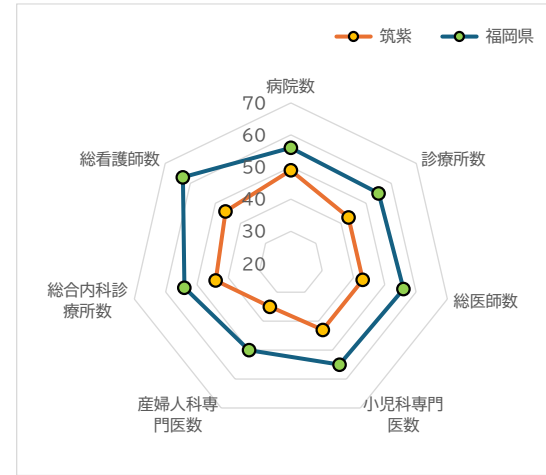
(うち、高齢者住宅定員:2,352、75歳以上1,000人当たり46(偏差値54)

介護職員数:3,131、75歳以上1,000人当たり62(偏差値42)

施設別定員数:老健施設560(偏差値36)、特養1,367(偏差値44)、介護医療院224(偏差値57)

(75歳以上1,000人当たり)有料21.6(偏差値58)、軽費1(偏差値49)、GH9.6(偏差値47)、サ高住14.1(偏差値49)

在宅ケア(施設数):在支診40(偏差値49)、在支病8(偏差値59)、訪看ST45(偏差値55)



## 12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

### ●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		訪問看護ステーション
			在宅療養支援診療所	
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086
福岡・糸島	123 → 123	1,611 → 1,779	244 → 246	151 → 373
粕屋	26 → 26	174 → 192	29 → 28	24 → 36
筑紫	27 → 27	293 → 313	45 → 39	35 → 73
朝倉	8 → 8	74 → 75	34 → 30	4 → 12
久留米	49 → 47	449 → 431	106 → 81	51 → 115
飯塚	22 → 20	167 → 164	20 → 22	20 → 45

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

### ●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数	病院		診療所	小児人口10万人対 医療機関数
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9	
福岡・糸島	111 → 115	18 → 21	93 → 94	52.1 → 52.6	
粕屋	18 → 19	5 → 5	13 → 14	38.3 → 40.0	
筑紫	29 → 27	6 → 5	23 → 22	43.0 → 41.0	
朝倉	8 → 7	2 → 2	6 → 5	75.7 → 67.4	
久留米	35 → 33	8 → 7	27 → 26	57.1 → 57.6	
飯塚	14 → 16	5 → 6	9 → 10	62.3 → 73.7	

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

### ●市別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
筑紫野市	10 →	9	76 →	76
春日市	5 →	5	80 →	86
大野城市	7 →	7	64 →	70
太宰府市	4 →	4	42 →	44
那珂川市	1 →	2	31 →	37
筑紫	27 →	27	293 →	313

### ●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
福岡・糸島	11 → 9	24 → 16
粕屋	1 → 1	5 → 5
筑紫	1 → 1	7 → 5
朝倉	0 → 0	1 → 1
久留米	3 → 3	14 → 11
飯塚	2 → 2	2 → 2

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、筑紫区域は、県全体、全国より少ない状況となっており、福岡県内の全ての医療圏で最も少ない

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国より少ない状況となっており、福岡県内の全ての医療圏で最も少ない

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体より少なく、全国よりも多いという状況である

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、筑紫区域は、県全体よりも少なく、全国と概ね同程度の状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設は5.3人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

・訪問看護は4.5人と県全体よりは少なく、全国よりは多い状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、筑紫区域は、県全体、全国よりも少ない状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は62.0人と県全体、全国よりも少ない

在宅も10.3人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、筑紫区域は、県内で最も少ない状況となっている

・筑紫区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等、訪問看護ステーションとなっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、筑紫区域は、県平均より少ない状況となっている

・筑紫区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

## 14. 在宅医療の状況

### 福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

#### 【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

#### 【調査時期】

毎年5月～7月頃

#### 【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

#### 【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

## ●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・筑紫区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が23件、「現状維持」が32件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が5件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は4件増加し、訪問診療患者数や在宅看取り患者数は、福岡・糸島区域、北九州区域に次ぐ増加数となっている

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、筑紫区域では、「40~49歳」が29.2%、「50~59歳」が24.7%と、中堅層の割合が他の区域と比べて高くなっており、60歳以上の年齢層の割合は29.7%と3割程度となっている
- ・筑紫区域については、他の区域と比べて、比較的年代ごとのバランスが取れている状況ではあるが、今後、老年人口が増えて、在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、引き続き在宅医療に従事する医師の確保を検討していく必要があるのではないか

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

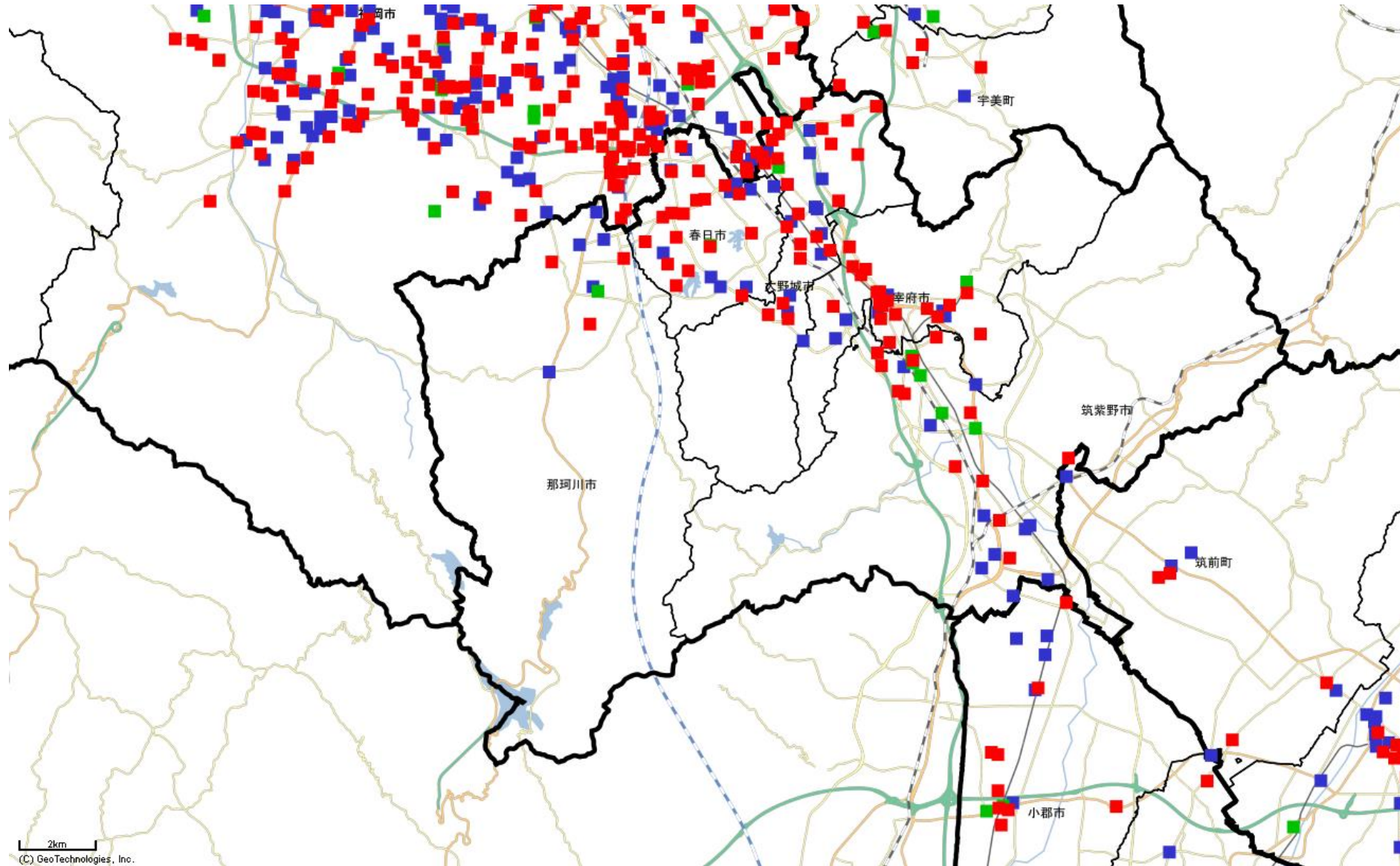
## ●在宅医療機関数(市別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
筑紫野市	13	500	3	64	16	936	7	121	3	436	4	57	3	9	0
春日市	19	789	3	118	17	1,076	2	170	-2	287	-1	52	6	8	2
大野城市	15	533	1	131	18	923	6	125	3	390	5	-6	4	9	0
太宰府市	12	763	0	79	11	618	1	176	-1	-145	1	97	6	3	3
那珂川市	10	134	0	16	11	122	0	31	1	-12	0	15	4	3	0
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5

## ●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤(常勤換算)	常勤+非常勤換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
筑紫野市	40	27	1.5	28.5	2	(5.0%)	7	(17.5%)	7	(17.5%)	8	(20.0%)	8	(20.0%)	8	(20.0%)
春日市	35	21	3.3	24.3	0	(0.0%)	2	(5.7%)	11	(31.4%)	12	(34.3%)	5	(14.3%)	5	(14.3%)
大野城市	55	28	6.8	34.8	3	(5.5%)	11	(20.0%)	15	(27.3%)	13	(23.6%)	10	(18.2%)	3	(5.5%)
太宰府市	34	11	6.7	17.7	0	(0.0%)	3	(8.8%)	17	(50.0%)	6	(17.6%)	6	(17.6%)	2	(5.9%)
那珂川市	14	13	0.2	13.2	0	(0.0%)	1	(7.1%)	2	(14.3%)	5	(35.7%)	4	(28.6%)	2	(14.3%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)

# 14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



筑紫区域	在支診	在支病	訪問看護ST
筑紫野市	9	5	12
春日市	9	1	19
大野城市	12	2	21
太宰府市	8	1	18
那珂川市	5	1	3
合計	43	10	73

R7.7.1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
筑紫野市	3,972	8,650	117.8%
春日市	3,482	7,272	108.8%
大野城市	3,585	7,551	110.6%
太宰府市	3,331	6,741	102.4%
那珂川市	1,583	3,912	147.1%
筑紫計	15,953	34,126	113.9%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、在支病、訪問看護STともに、区域の中心を貫く西鉄沿線に集中している

## 15. 看護職員の状況

### 看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

#### 【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

#### 【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

#### 【調査時期】

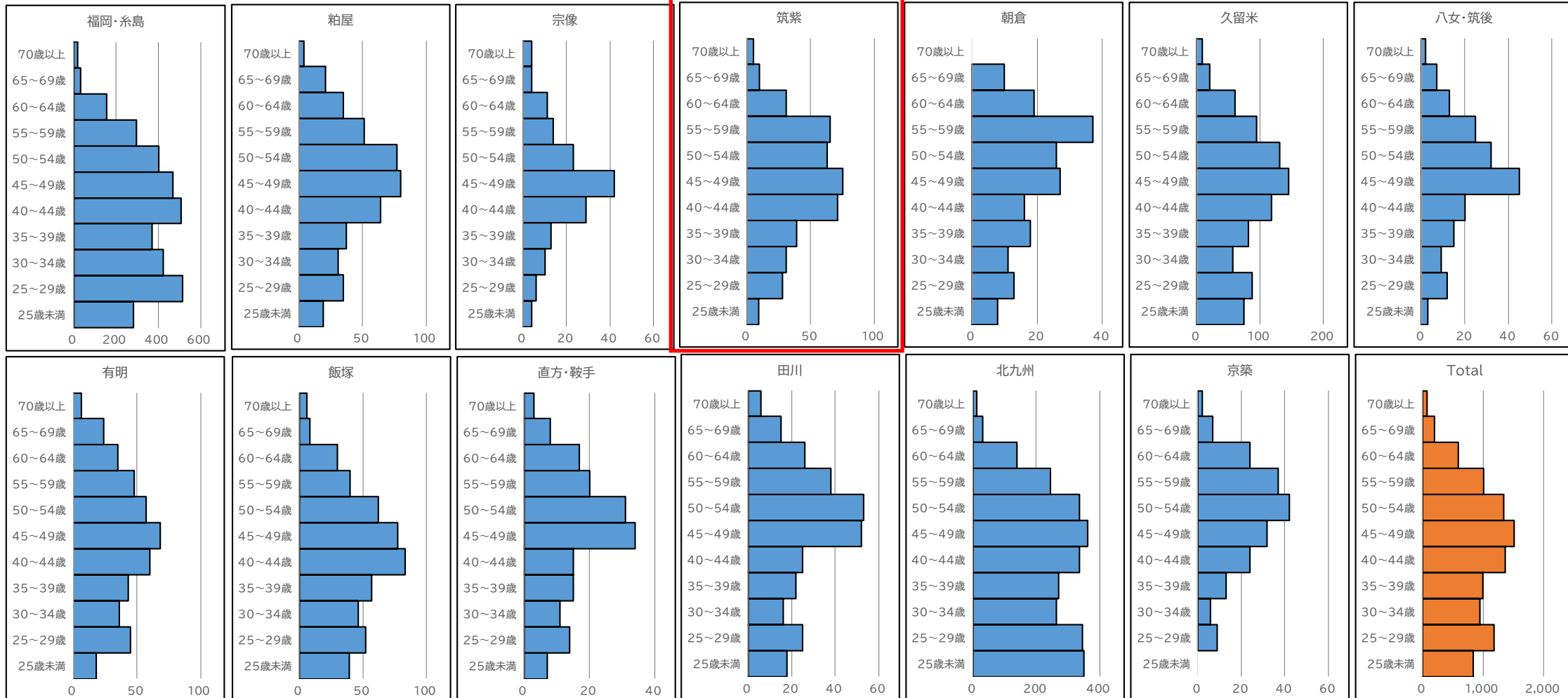
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

#### 【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

# 15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

## ●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・筑紫区域の年齢構成ピラミッドを見ると、40～50代の年齢層が中心となっており、他の区域と比べてこの年代層のボリュームが厚くなっている
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10～20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

## 16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

筑紫区域は、H28年からR5年の7年間で人口が6,351人(1.4%)増加している

この7年間で推計流入患者割合は2.9ポイント減少、推計流出患者割合は3.4ポイント増加している

R5年の流出患者数の割合は40%を超えており、流出傾向が強くなっている状況が見られる

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

## 17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

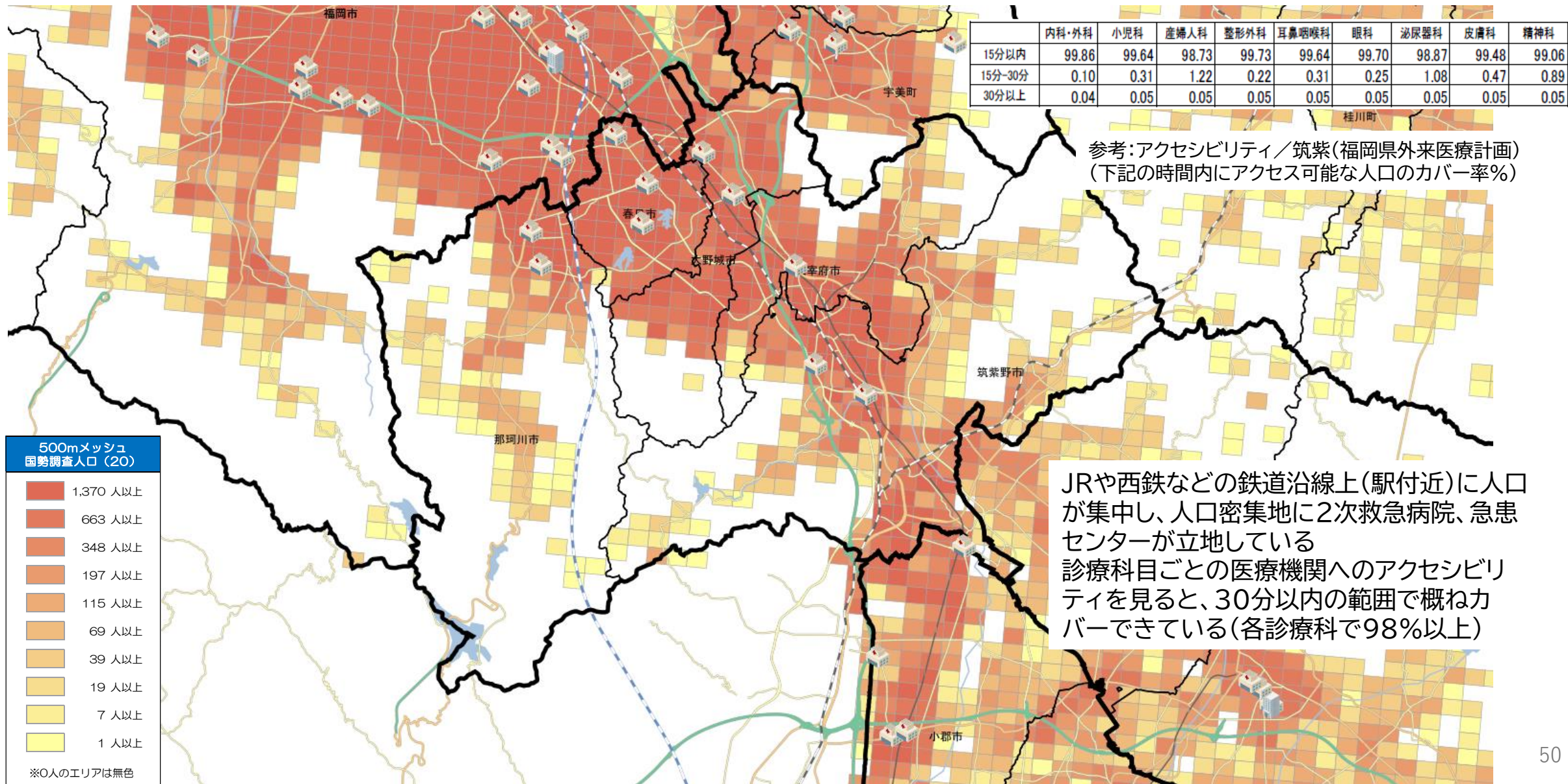


・筑紫医療圏は、福岡・糸島医療圏、粕屋医療圏、飯塚医療圏、朝倉医療圏、久留米医療圏と接している

・医療の状況を見ると、筑紫医療圏内には、10の二次救急があるが、急患センターは設置されていない

・隣接する医療圏には複数の二次救急、急患センターがある

# 18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



## 19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
筑紫野太宰府消防組合消防本部	8,115	13 (0.2%)	410 (5.1%)	350 (4.3%)	2,427 (29.9%)	4,915 (60.6%)	7,049 (86.9%)	1,061 (13.1%)	5 (0.1%)
春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	11,066	56 (0.5%)	687 (6.2%)	497 (4.5%)	3,254 (29.4%)	6,572 (59.4%)	9,897 (89.4%)	1,159 (10.5%)	10 (0.1%)
筑紫区域計	19,181	69 (0.4%)	1,097 (5.7%)	847 (4.4%)	5,681 (29.6%)	11,487 (59.9%)	16,946 (88.3%)	2,220 (11.6%)	15 (0.1%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
筑紫野太宰府消防組合消防本部	1 (0.0%)	0 (0.0%)	407 (5.0%)	4,531 (55.8%)	3,176 (39.1%)	0 (0.0%)	1,417 (44.6%)
春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	0 (0.0%)	3 (0.0%)	356 (3.2%)	5,412 (48.9%)	5,295 (47.8%)	0 (0.0%)	2,565 (48.4%)
筑紫区域計	1 (0.0%)	3 (0.0%)	763 (4.0%)	9,943 (51.8%)	8,471 (44.2%)	0 (0.0%)	3,982 (47.0%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、筑紫区域、県ともに高齢者の割合が高い  
→ 筑紫59.9%、県62.4%
- ・症状別では、筑紫区域は県に比べて「軽症」の割合が高い  
→ 筑紫44.2%、県39.6%
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、筑紫区域、県ともに大きな差はない  
→ 筑紫47.0%、県47.7%

## 19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
筑紫野太宰府消防組 合消防本部	8,115	4,915	3,093 (62.9%)	1,470 (29.9%)	304 (6.2%)	209 (4.3%)	701 (14.3%)	34 (0.7%)	297 (6.0%)	21 (0.4%)
春日・大野城・那珂川 消防組合消防本部	11,066	6,572	4,325 (65.8%)	1,742 (26.5%)	348 (5.3%)	258 (3.9%)	827 (12.6%)	53 (0.8%)	426 (6.5%)	26 (0.4%)
筑紫区域計	19,181	11,487	7,418 (64.6%)	3,212 (28.0%)	652 (5.7%)	467 (4.1%)	1,528 (13.3%)	87 (0.8%)	723 (6.3%)	47 (0.4%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、筑紫区域ともに、「住宅」が最も割合が高い  
→筑紫64.6%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

# 19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
筑紫野太宰府消防組合消防本部	8,115	36.43	5,815 (71.7%)	1,201 (14.8%)	613 (7.6%)	486 (6.0%)	320 (65.8%)	5,643 (69.5%)	2,472 (30.5%)
春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	11,066	36.96	9,157 (82.7%)	1,083 (9.8%)	369 (3.3%)	457 (4.1%)	316 (69.1%)	6,683 (60.4%)	4,383 (39.6%)
筑紫区域計	19,181	36.74	14,972 (78.1%)	2,284 (11.9%)	982 (5.1%)	943 (4.9%)	636 (67.4%)	12,326 (64.3%)	6,855 (35.7%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

## 【筑紫区域各消防本部の主な搬送先】

### (筑紫野太宰府消防組合消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 済生会二日市病院	筑紫野市	2,707	33.4%	30.7%	64.1%	5.2%						
2位 福岡大学筑紫病院	筑紫野市	2,514	31.0%	44.9%	50.8%	4.3%						
3位 福岡徳洲会病院	春日市	1,047	12.9%	53.5%	43.0%	3.5%						
4位 嶋田病院	小郡市	300	3.7%	41.0%	55.7%	3.3%						
5位 自衛隊福岡病院	春日市	184	2.3%	71.7%	27.7%	0.5%						
1位～5位の合計		6,752	83.2%	41.1%	54.5%	4.4%						
総計		8,115	100.0%	39.1%	55.8%	5.0%						

### (春日・大野城・那珂川消防組合消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 福岡徳洲会病院	春日市	5,656	51.1%	60.0%	36.6%	3.4%						
2位 済生会二日市病院	筑紫野市	919	8.3%	27.9%	71.2%	1.0%						
3位 九州中央病院	福岡市	778	7.0%	28.0%	68.4%	3.6%						
4位 福岡大学筑紫病院	筑紫野市	622	5.6%	44.4%	52.1%	3.5%						
5位 福岡赤十字病院	福岡市	465	4.2%	45.2%	52.7%	2.2%						
1位～5位の合計		8,440	76.3%	51.6%	45.3%	3.1%						
総計		11,066	100.0%	47.8%	48.9%	3.2%						

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、筑紫野太宰府消防組合消防本部36.4分、春日・大野城・那珂川消防組合消防本部が37.0分である

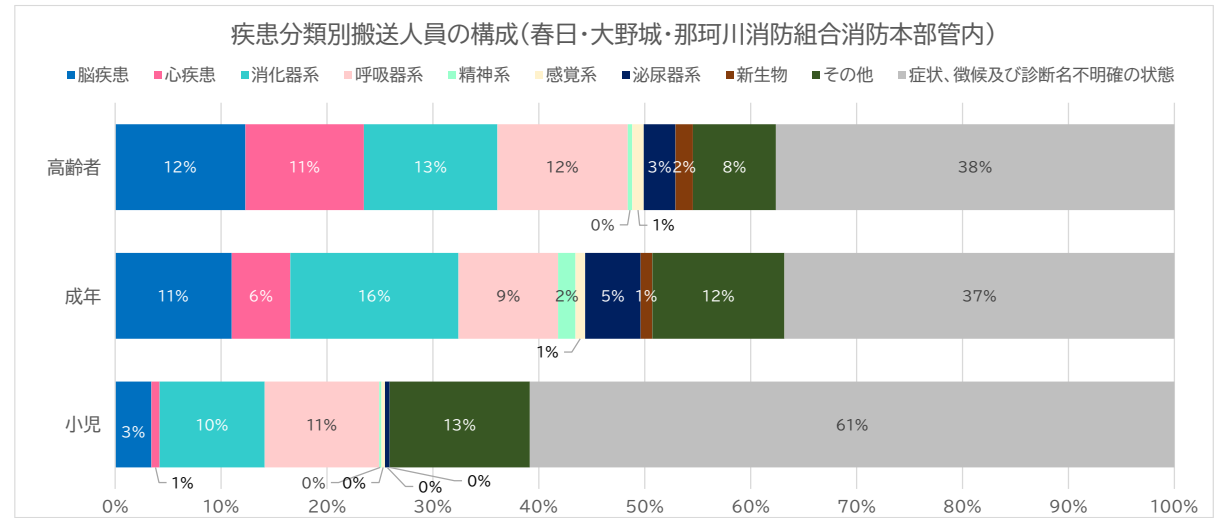
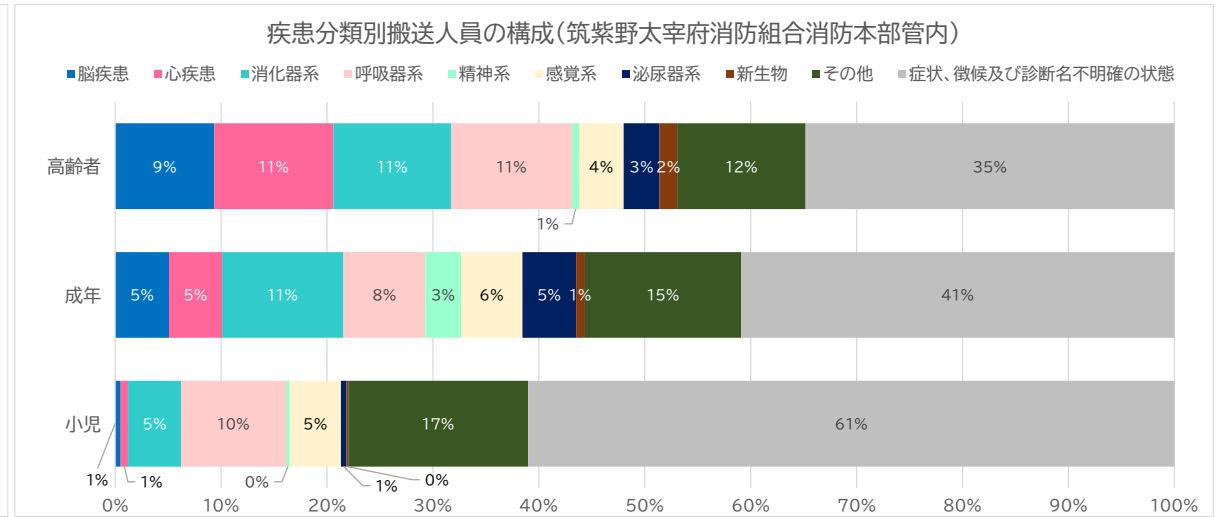
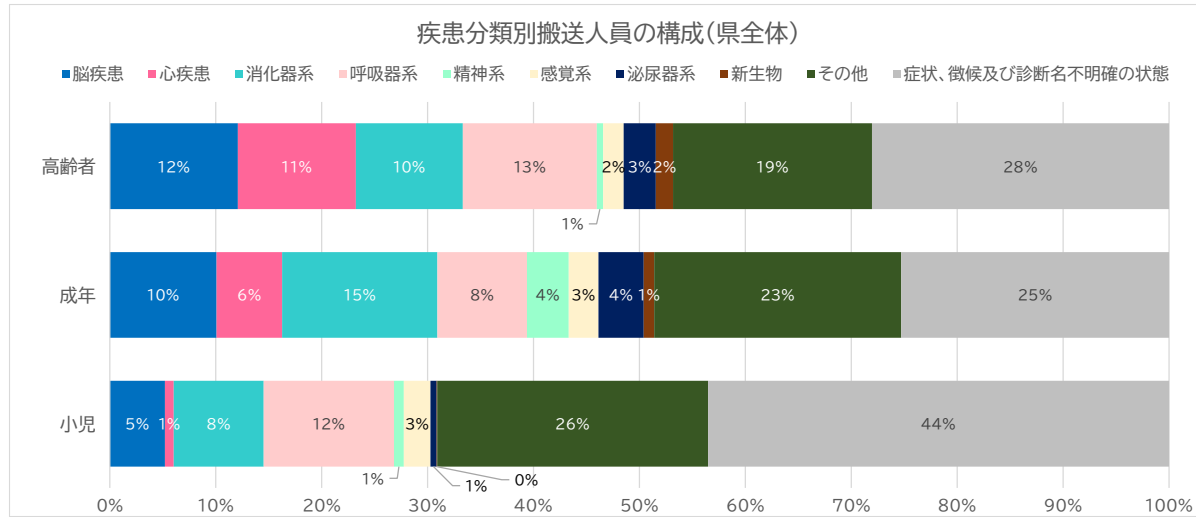
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、筑紫区域が78.1%で、1回までに決まる割合は、春日・大野城・那珂川消防組合消防本部で82.7%と高くなっている。ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも筑紫区域が若干高い

・筑紫区域各消防本部の主な搬送先を見ると、筑紫野太宰府消防組合消防本部は、域内の「済生会二日市病院」、「福岡大学筑紫病院」に6割以上が搬送されている。春日・大野城・那珂川消防組合消防本部は、域内の「福岡徳洲会病院」、「済生会二日市病院」に概ね6割が搬送されている

# 19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 疾患分類別搬送人員の構成



# 19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る筑紫区域内の各消防本部の搬送状況

\* 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

筑紫野太宰府消防組合消防本部

救急患者: 773人(うち 搬送先 管内356人(46.1%)、管外417人(53.9%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡大学筑紫病院	296人	83.1%
2位 済生会二日市病院	44人	12.4%
3位 -	-	-
管内総計	356人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡徳洲会病院	春日市	308人	73.9%
2位 福岡市立こども病院	福岡市	21人	5.0%
3位 九州大学病院	福岡市	15人	3.6%
管外総計		417人	100.0%

【参考】筑紫野太宰府消防組合消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	576人 (74.5%)
2回	122人 (15.8%)
3回	42人 (5.4%)
4回以上	33人 (4.3%)

収容平均所要時間 36.90分

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部

救急患者: 1,240人(うち 搬送先 管内1,024人(82.6%)、管外216人(17.4%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡徳洲会病院	980人	95.7%
2位 諸岡整形外科病院	19人	1.9%
3位 自衛隊福岡病院	10人	1.0%
管内総計	1,024人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡大学筑紫病院	筑紫野市	85人	39.4%
2位 福岡市立こども病院	福岡市	37人	17.1%
3位 九州大学病院	福岡市	28人	13.0%
管外総計		216人	100.0%

【参考】春日・大野城・那珂川消防組合消防

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	1,141人 (92.0%)
2回	74人 (6.0%)
3回	6人 (0.5%)
4回以上	19人 (1.5%)

収容平均所要時間 32.62分

## ● 小児に係る筑紫区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	搬送先					
		1位		2位		3位	
1位 福岡徳洲会病院	2,213人	春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	44.3%	福岡市消防局	28.8%	筑紫野太宰府消防組合消防本部	13.9%
2位 福岡大学筑紫病院	435人	筑紫野太宰府消防組合消防本部	68.0%	春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	19.5%	甘木・朝倉消防本部	6.4%
3位 済生会二日市病院	55人	筑紫野太宰府消防組合消防本部	80.0%	春日・大野城・那珂川消防組合消防本部	12.7%	甘木・朝倉消防本部	7.3%

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

収容平均所要時間 37.55分

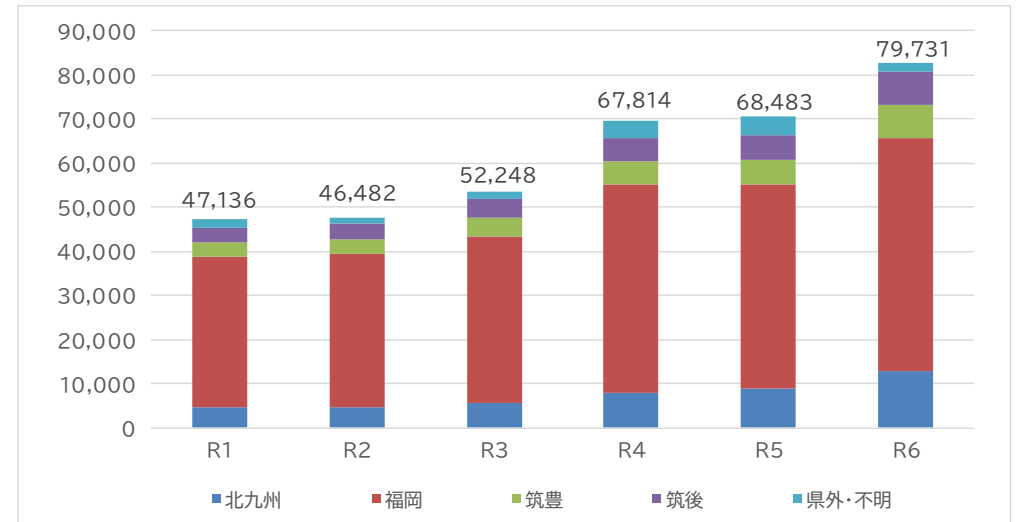
## 20. 救急医療電話相談利用件数

### ●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった

福岡地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から6,669件増加し、過去最多の5万3,038件となった

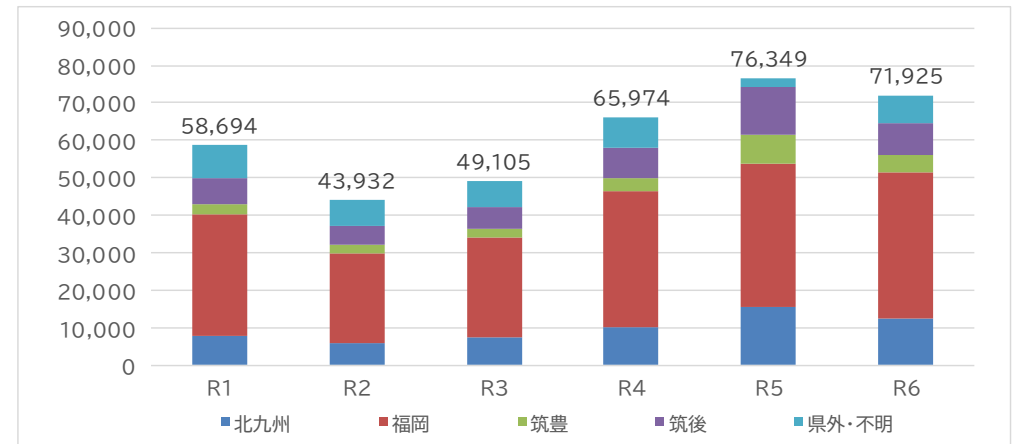


### ●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である

福岡地域の「#8000」の相談件数はR2年度から一貫して増加傾向にあり、R6年度は過去最多の3万8,759件となった



\*地域別の件数は相談者居住地による相談件数

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 福岡大学筑紫病院 (41.4%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (40.6%)、福岡県済生会二日市病院 (18.0%)
眼科系 (02)	: 福岡大学筑紫病院 (73.5%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (26.5%)
耳鼻科系 (03)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (54.3%)、福岡大学筑紫病院 (45.7%)
呼吸器系 (04)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (44.1%)、福岡大学筑紫病院 (31.4%)、福岡県済生会二日市病院 (24.4%)
循環器系 (05)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (55.0%)、福岡県済生会二日市病院 (27.4%)、福岡大学筑紫病院 (17.6%)
消化器系 (06)	: 福岡大学筑紫病院 (42.8%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (40.9%)、福岡県済生会二日市病院 (14.6%)
筋骨格系 (07)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (47.8%)、(医) 正明会諸岡整形外科病院 (20.8%)、福岡大学筑紫病院 (17.2%)
皮膚系 (08)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (75.7%)、福岡県済生会二日市病院 (24.3%)
乳房系 (09)	: 福岡大学筑紫病院 (82.0%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (18.0%)
内分泌系 (10)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (41.2%)、福岡大学筑紫病院 (35.3%)、福岡県済生会二日市病院 (23.5%)
腎尿路系 (11)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (55.9%)、(医) 邦生会高山病院 (16.9%)、福岡県済生会二日市病院 (15.5%)
女性系 (12)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (100.0%)
血液系 (13)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (46.7%)、福岡県済生会二日市病院 (31.1%)、福岡大学筑紫病院 (22.2%)
新生児系 (14)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (78.7%)、福岡大学筑紫病院 (21.3%)
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (51.0%)、福岡大学筑紫病院 (18.3%)、(医) 正明会諸岡整形外科病院 (16.3%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (56.6%)、福岡大学筑紫病院 (16.1%)、福岡県済生会二日市病院 (14.1%)

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 福岡大学筑紫病院 (41.0%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (31.2%)、福岡県済生会二日市病院 (24.0%)
眼科系 (02)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (100.0%)
耳鼻科系 (03)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (40.7%)、福岡県済生会二日市病院 (34.8%)、福岡大学筑紫病院 (19.7%)
呼吸器系 (04)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (41.1%)、福岡大学筑紫病院 (24.7%)、福岡県済生会二日市病院 (24.7%)
循環器系 (05)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (50.2%)、福岡県済生会二日市病院 (23.5%)、福岡大学筑紫病院 (19.2%)
消化器系 (06)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (37.5%)、福岡県済生会二日市病院 (29.2%)、福岡大学筑紫病院 (28.6%)
筋骨格系 (07)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (30.5%)、(医)正明会諸岡整形外科病院 (27.1%)、福岡県済生会二日市病院 (25.8%)
皮膚系 (08)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (36.8%)、福岡大学筑紫病院 (29.0%)、福岡県済生会二日市病院 (19.3%)
乳房系 (09)	: 福岡大学筑紫病院 (79.7%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (20.3%)
内分泌系 (10)	: 福岡大学筑紫病院 (34.8%)、(医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (32.9%)、福岡県済生会二日市病院 (19.4%)
腎尿路系 (11)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (38.2%)、福岡県済生会二日市病院 (21.0%)、(医) 邦生会高山病院 (14.4%)
女性系 (12)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (100.0%)
血液系 (13)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (43.1%)、福岡大学筑紫病院 (29.4%)、福岡県済生会二日市病院 (27.5%)
新生児系 (14)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (95.6%)、福岡大学筑紫病院 (4.4%)
小児系 (15)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (63.7%)、福岡大学筑紫病院 (36.3%)
外傷系 (16)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (41.1%)、福岡県済生会二日市病院 (21.3%)、(医) 正明会諸岡整形外科院 (16.6%)
精神系 (17)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (43.9%)、福岡県済生会二日市病院 (37.9%)、福岡大学筑紫病院 (18.2%)
その他 (18)	: (医) 徳洲会 福岡徳洲会病院 (57.4%)、福岡県済生会二日市病院 (24.8%)、福岡大学筑紫病院 (14.8%)